

第五十九回
帝國議會
貴族院

地租法案特別委員會議事速記録第一二號

付託議案

耕地整理法中改正法律案

昭和六年三月十二日(木曜日)午前十時二十
十八分開會

○委員長(伯爵柳澤保憲君) 開會ヲ致シマ

ス、國務大臣ニ申上ゲテ置キマスガ、此委員
會モ委員諸君非常ニ御勉強デモウ時間前
カラ詰掛ケテ居ル狀況デアリマスカラ、ド
ウゾ此邊ヲ御諒承下サイマシテ、時間通り
ドナタカ御出席ナサルコトヲ希望イタシテ
置キマス、他ノ國務大臣ハ暫時遅レル方モ
ゴザイマスノデ、先ヅ大藏大臣カラ一ツ御
質問ガゴザイマスレバ、此際御願ヒ致シマ
ス

○森田福市君 私ハ先ヅ大藏大臣ニ御尋ネ

スルノデアリマスガ、相當重要法案デアリ
マスガ、主管大臣ダケデ御ヤリニナルノデ
アリマセウカ、或ハ總理大臣モ此席ヘ出テ
質疑應答ヲ爲サルノデアリマセウカ、新聞
紙ナドノ傳フル所ニ依レバ、成ベクサウ云
フコトヲ避ケラレルヤウナ風ニ書キ、又與
黨ノ人ミモサウ云フコトヲ希望シテ居ラレ
ルヤウニ書イデアリマスガ、併シ私情ト國

政ノ審議トハ各、別ノ意味ニ考ヘテ行カナ
ケレバナラヌノデハナイカト私ハ考ヘルノ
デアリマス、要スルニ健康ヲ害シテ居ラレ
タカラ代理ヲ置カレタ、健康ヲ回復サレ
タカラ本人ガ御出席ニナツタ、御出席ニナル
コトハ、即チ議會中デアル以上ハ當然議員
ノ質疑應答ニ御當リニナルノデヤナイカ、
強ヒテソレヲ體ガ惡イカラ云々ト云フコト
ニナルト、遂ニ總理大臣ト云フモノハナシ
デ終ラネバナラヌ結果ニナリハセヌカト云
フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、其邊ノ事
情ヲ先ヅ承テ、ソレカラニシタイト思ヒマ
ス

○國務大臣(井上準之助君) 御尤ト考ヘマ

スガ、總理モ御覽ノ如ク、マダ病後衰弱イ
タシテハ居リマスガ、二日間出席イタシマ
シタ成績ニ依リマス、病氣後ノ状態ニ於
テハ、醫者ノ診察ニ依ルト何モ變々トコト
ガナイノデアリマシテ、今日ハ差掛ク用モ
ナイカラ一日登院セヌカモ知レマセヌガ、
明日位カラ又段々登院イタシマス、登院イ
タシマスレバ、今森田サンノ要求サレルヤ
ウニ、必要ガゴザイマスレバ出テモ参リマ
ス、又何カ急ヲ要スルコトガゴザイマシタ

ラバ、書面等デモ答辯イタシマセウシ、又
出テ参リマスマデ御待チ下サレバ、何時デ
モ答辯イタシマス

○森田福市君 能ク分リマシタガ、書面デ

御質問シタリ答辯セヌデモ、開ケテ居リマス
カラ、成ベク院内ニ居テ戴イテ、サウシテ
質問ニ對シテハ答ヘテ貰フヤウニシテモラ
ヒタイ、但シ勿論ソレヲ主管大臣デ宜イコ
トマデ總理大臣ヲ引張ル必要ハナイト考
ヘマスガ、ドウゾ一ツ、モウ會期モ僅デア
リマスカラ、總理大臣ガ在ル以上ハ、矢張
リ在ルモノトシテヤッテ戴キタイノデアリ
マス、ソコデ私ハ此減稅ノ問題ニ對シテ大
體ノコトヲ伺テ置キタイ、昨日大橋サンカ
ラモ話ガアッテ、私ハ全然同感デ、本會議デ
モ私ハ其意思ヲ、意味ヲ話シタノデアリマ
スガ、從來、本會議並ニ豫算總會等ニ於ケ
ル先輩議員各位ノ質疑ヲ承テ居リマス、
海軍ノ第二補充計畫ト云フモノガアル、從
テ、其財源ヲ取テ置ク爲ニ今度ノ減稅ハド
ウダラウト云フヤウナ意味ノ、私ノ聞違ヒ
カモ知レマセヌガ、サウ云フ意味ノ質問ガ
屢、繰返サレタノデアリマス、私ハ此點ハ聊
カ考ヲ異ニシテ居ル、海軍ノ第二次補充計

畫ガ有ルカ無イカ分リモセヌモノマデ、議
員ガ根掘リ葉掘リ掘上ゲテ、飽マデモ其金
ヲ使テ呉レト云フコトヲ註文スルヤウナ
態度ニ出テ行クコトハ、ドウダラウカ、寧
ロ國民ノ負擔ノ輕クナルコトヲ國民ハ望ン
デ居ル折柄、國民ノ負擔ノ多クナルヤウナ
コトヲヤルコトガ、果シテ適正ナルモノデ
アルカドウカト云フコトニハ疑問ヲ持テ
居ルノデアリマス、從テ海軍ニ第二次ノ補
充計畫ガアラウト、第三次ノ計畫ガアラウ
ト、左様ナコトヲ今議論スル必要ハナイ、
今ハ要スルニ國民ノ負擔ヲ多額ニ輕クシテ
ヤルト云フコトガ最モ肝要デヤナイカ、而
モ緊急ナ問題デヤナイカト考ヘル、今回御
出シニナッテ居ル此減稅案モ、是ガドウモ減
稅ニナルコトハ甚ダ嬉シイノデアリマス
ガ、政府ハ要スルニ倫敦ノ海軍條約ガ濟ン
ダナラバ、國民ノ負擔ヲ輕クシテヤルト云フ
立前カラ、其言質ノ所謂手形ヲ發行シタル爲
ニ、其手形ノ支拂ヲナス意味ニ於テ今回ノ減
稅案ヲ御出シニナツタ、サウシテ皆様ノ話ヲ
承テ居ルト、倫敦ノ所謂條約ニ依リ、不用ニ
ナツタ財源五億八百万圓、私ハ此點ガ、大藏
大臣ガ先般來屢、御答ニナッテ居ルコトハ首

肯シ得ナイノデアリマス、五億八百万圓ノ財源ヲ留保シテ時代ノ歳入ノ計畫ト、今日ノ實際ノ收入トハ大變ナ懸隔ガ來テ居ル、大藏大臣ハ其來テ居ルコトニ對シテハ五億八百万圓ノ財源ニハ手ヲ付ケズニ、他ノ各省ノ歳出ヲ切り詰メテ之ニ備ヘタノデアアルカラ、五億八百万圓ニハ一錢一厘モ手ヲ付ケテ居ナイト云フ意味ノ答辯ヲ屢、繰返サレテ居ルノデアリマス、併シ手ヲ付ケヌト仰シヤッテモ、收入ガナケレバ勢ヒ手ヲ付ケテ行カナケレバナラヌ結果ト云フモノヲ私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ見ルノガ宜イノデヤナイカ、要スルニ此減稅ノ財源ガナイ、併シ減稅ト云フモノハ即チ國民ノ負擔ヲ輕クシテ、國民カラ之ヲ取テ國民ヲ輕クシテヤルコトハ、一部ノ人カラ取テ、一部ノ人ヲ輕クシテヤル結果ニナルノデヤナイカ、今回ノヤウナ誠ニ僅少ナ、僅少ナト云フコトハ私ガ此間申上ゲタ通りニ、此點ハ政府ハ御認メニナルダラウト思フ、平年度ニ於テ一人當リノ減稅ガ二十三錢、一ヶ月二錢弱一日ガ七毛ニナル、或ハ本年ノ如ク一日ガ二毛バカリノ減稅ニナル、此位ノ減稅デ今日ノ國民ノ疲弊困憊ニ陥テ居ルコトヲ救フドノ位ノ足シニナルト政府ハ思ハレルノデアラウカ、私ハ此位ノ減稅ヲナサタコト

ガ國民ノ足シニハナラナイカラシテ、所謂百尺竿頭一步ヲ進メテ大減稅ヲ御ヤリニナッテハドウカ、要スルニ色ミノ經費ヲ節約ナサッテ、國民ノ負擔ヲウント減シテヤル、然ラバ國民ノ負擔ヲ輕クシテヤルコトガ工合ガ悪イ、或ハ左様ニ相當ナ、國民ノ疲弊困憊ヲ救フ程ノ減稅ヲヤルコトガ現在ノ状態デ困難デアラナラバ、國民ノ收入ヲ増シテヤル方法ヲ御執リニナッテハドウカ、國民ノ收入、財産ヲ増ス、財産ヲ相當御減シニナッテヤツテ全部元ヘ戻サヌデモ、減シタ財産ノ二割ナリ三割ナリ、元ヘ戻ルヤウナ政策、竝ニ國民ノ收入ヲ増シテヤリ、失業者ニナッテ居ル者ニ、就職ヲサスト云フヤウナ、積極方面ノ調査ガ宜イト私ハ考ヘル、人口ガ殖エテ行キヨル今日ニ於テ整理調査ノヤウナ、整理ノ調査會ミタヤウナモノバカリ作ルコトハドウカ、此整理ニ付テ私ハ大藏大臣ガドウ御考ヘニナッテ居ルカ知ラヌガ、役人ノ方デハ斯ウ云フコトヲ言フ、大藏大臣ハ先般來ノ減稅問題ニ對シテ、役人ノ前デ減稅ノ問題ハ非常ナ「デリケート」ナ問題デアアルカラシテ、マア言明モ出來ナケレバ、是以上ノ答辯ハ出來ナイト云フ意味ノ御答ガ屢、アッタノデアリマスガ、其半面ニ行政財政ノ調査會、所謂整理ノ調査ヲヤルト云

フコトニナルト、減稅ヲサレナケレバ、人數ヲ減サレルコトニナル、結果、同じニナルノデアリマス、一人ガ全部ノ不幸ヲ引受ケルカ、平均ニ一同ガ其不幸ヲ引受ケル、ドチラニシテモ結果ハ同じコトニナッテ來ル、デアアルカラ役人デハ何ト云ッテ居ルカト云フト、此内閣ガ此以上續イテ呉レルト我々モドウモ危イコトニナルガ、表向キ言フ譯ニ行カヌ、表向キ言フ譯ニ行カナイガ、内々考ヘテ居ルノデハ此以上續イテ貰ッテハ、ドンナコトニナルカ分ラヌト云フコトヲ殆ド異口同音ニ役人ナドハ話シテ居ル、此所ニ居ラレルヤウナ方ハ、ソナコトヲ話サレル方ハ一人モナイガ、他所ニアル、デアアルカラ此減稅ヲヤルノナラバ國民ノ負擔ヲ徹底的ニ輕クナルヤウニ御ヤリ下サルコトヲ切ニ希望スル、若シ然ラズバ國民ノ收入ノ殖エル方法、財産ヲ増ス方法ノ積極的調査ヲ御ヤリニナッテ貰ヒタイト云フ考ガアルガ、此點ニ關シテ大藏大臣ノ御考ハドウ御考ヘニナルカ、承ッテ見タイ

○國務大臣(井上準之助君) 減稅ヲ多クセヌケレバナラヌ、仰シヤルコトハ至極同感デアリマシテ、斯様ナ經濟界ノ急激ニ變更シタ時代ニ出來ルダケ多ク政費ヲ節シテ、減稅ヲ致シマスと云フコトハ、國家ノ財政ヲ危クセヌ程度ニ於テハ當然努メヌケレバナラヌ、又最モ適當ナ處置ト考ヘマス、併シ度ニ申上ゲマスヤウニ、一旦膨レタ國ノ財政ガ昭和六年度ニ於テ前年度ニ比較シテ一億五千万圓以上モ減ル、減ルニ從テ政費ヲ減ジテ行キマスと云フハ、割合カラ御覽下サイマシテモ可ナリ多イ割合デアリマス、可ナリ十五億ニ對シテ一億五千万圓トスレバ一割デアリマス、其中デ半分以上ハ義務費、斯ウ考ヘテ見マスと其減ラス割合ハ非常ナ巨額ナモノデアリマシテ、森田サンノ言ハレル政費ヲ大イニ節シテ尙ホ此上ニウシント減稅ヲシロト云フコトハ財政當局者、政府ノ當局者ニ向ッテ非常ナ御深切ナ適當ナ御忠告ト考ヘマスガ、本會議ニ於テモ申シマシタヤウニ、財政行政ノ整理ヲ致シマシテモ、此減稅ニ對シテ行政ノ組織ヲ立替ヘテ行カウト云フコトガ一ツデアリマス爲ニ、此上下レダケノ減稅ガ出來マスカ、的確ニ私ハ申上ゲ兼ネマスと返答ヲ申シマシタヤウナ次第デアリマス、從テ減稅ニ付キマシテハ必要ハ感じテ居リマスルガ、海軍ノ留保財源ノ餘剩金ヲ以テ減稅ヲスル以外ニ、ドレダケ出來ルト云フヤウナコトヲ申上ゲル程度ニ參ッテ居ラヌコトハ誠ニ遺憾デゴザイマス、ソレナラバ稅ノ減ラヌヤウ

ニ國民ノ所得ヲ殖スヤウニト云フ積極的の政
策ヲ立テトスウ仰シヤラレマスガ、私ハ
森田サンガ具體的ノ案ヲ御示シニナラヌカ
ラ、私ガ森田サンノ意ヲ忖度シテ具體的ノ
方法ヲ茲ニ擧ゲテ、此事柄ニ付テ私ノ意見
ヲ申シマス、例ヘバ茲ニ國民ノ所得ヲ殖
ヤス積極的の政策ヲ執ル、斯ウ言ヘバドウカ
ト云ヘバ、今日ノ國民所得ノ減タモノヲ三
割殖ヤシテヤラウ、斯ウ云フコトニ付キマ
シテハ可ナリ多クノ金ヲ使テ行カナケレ
バナリマセヌ、保護或ハ助成等ニ付テノ處
置ヲ執ラヌケレバナラヌダラウト思ヒマ
ス、然ラバ一方ニ使フ金ガアルカト言ヘバ、
借金ヲシテ、サウシテ積極政策、保護政策、
助成政策、斯ウ云フコトヲ執ラヌケレバ
ラヌコトニナリマスガ、其點ニナリマス
我ハ抽象的ニ森田サンノ議論ガ左様ノ意
味デアラナラバ、此世界ノ不景氣ニナツタ
代ニ日本ガ獨リ左様ナ事ヲスルト云フコト
ハ頗ル危険ナ次第デアツテ、他日ニ非常ナ弊
害ヲ貽スノデアル、又日本ノ今日ノ状態カ
ラ申シマス、金ノ解禁ヲセザルベカラザ
ル時代ニ迫ツテ、金ノ解禁ヲシタノデアリマ
ス、金ノ解禁後ノ状態ヲ守リ、ソレニ依ツテ
日本ノ財界ヲ世界ノ財界ト共ニ立直シテ行
カウト云フニハ、今日ノヤウナ時代ニ借

金ヲシテ、進ンデ積極保護政策ヲ執ツテ、サ
ウシテ日本ノ財界ニ對シタナラバ、他日ニ
非常ナ弊害ヲ貽シテ、歐羅巴ノ大戰爭後、
日本ノ財界ノ状態ガ世界ノ状態ヨリ遠
居タト云フコトハ、ソコニ左様ナ事ヲシタ
コトガ最モ弊害ノ多イ所デアツタ、即チ金
ノ解禁ガ世界ニ比シテ後レタト云フコトモ、
財界ノ整理ヲセズニ保護積極政策ト云フコ
トヲ執ツテ來タト云フコトカラ、斯様ナ次第
ニナツテ來タト云フコトヲ考ヘマス、茲ニ
於テ左様ナ事ヲシタナラバ其事ガ目前一
時……何年カノ間ハ、或ハ效ヲ奏スルカモ
知レマセヌガ、其後ノコトヲ考ヘテ見マシ
タナラバ、今日ヨリカヨリ以上ノ弊害ヲソ
コニ生ズルト云フコトヲ我ハ考ヘテ居リ
マスカラ、若シ私ガ茲ニ想像スルヤウナ森
田氏ノ議論デアリマスナラバ、我ハ今日
ノ時代ニハ左様ナ事ヲシテハイカヌ、今日
ノ日本ノ財界ハ世界ノ財界ノ状態ニ應ジテ
所謂整理ヲシテ行カナケレバナラヌノデア
リマス、併ナガラ其間ニ破壊ヲ來シテハイ
カヌカラ、破壊ヲ來サヌヤウニ、各所ニ對
シテ金融ノ援助、或ハ整理ノ促進ヲシテ、
此時代ニ應ジテ行カナケレバナラヌ、斯ウ
考ヘテ居リマス、又サウ考ヘテ今日ノ日本
ノ財界ヲ見マス云フト、成程、米ガ非常

ニ出來過ギテ、内地朝鮮ヲ合計シテ千万石
モ、平生カラ見ルト出來過ギテ居ル、米ガ
非常ニ下ツテ、米ノ値段ト云フモノガ下
カラ農村ト云フモノガ非常ニ疲弊シテ居
ル、斯ウ云フ特殊ナ事情モアリマス、又日
本ノ財界全體カラ見マス、私ガ只今申ス
ヤウナ是マデノヤリ方ガ惡カッタカラ非常
ニ困テ居ル状態デアリマス、ソレデ茲ニ
至ツテ之ヲ根本的ニ直サナケレバイカヌト
我ハ考ヘテ居ル次第デアリマス
○森田福市君 今ノ私ノ御尋ノ中ノ一ツヲ
御答ヘニナラナカッタと思フノデアリマス
ガ、今度ノ減稅ハ倫敦條約ニ依ル剩餘財源
五億八百萬圓ノ中ニアラズ、其中デナイノ
デハナイカ、大藏大臣ハ五億八百萬圓ハ手
ヲ付ケズニ取ツテアルト仰シヤルケレドモ、
ソレハ普通ナ、此保留財源ノ確立ヲスルト
同時ニ收入ガアツテコソ五億八百萬圓ト云
フモノガ殘ルノデアアルガ、今日ノ時代、此
稅減收ノ時代ニハ、其五億八百萬圓ニ勢ヒ
手ヲ附ケルコトニナリハセヌカト云フニ對
シテ、大藏大臣ハサウデナイ、ソレハ他ノ
各省ノ歲出ノ節約シテ、稅ノ減收ニ充テタカ
ラ五億八百萬圓ニハ手ヲ付ケテ居ナイト、
斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、他ノ各省ノ
歲出ガ稅ノ減タダケニ相當スルダケ支出

ヲ控ヘテ居レバ、大藏大臣ノ仰シヤッタ通り
デアリマス、然ルニ他ノ省ノ歲入ハ、其稅
ガ減タダケノ歲出ノ減ヲ行フコトガ出來
ナイカラ、獨逸ノ賠償金ナゾヲ普通會計ニ
繰リ入レナケレバナラナイヤウニナツタノ
デハアリマセヌカ、其他色ミナル遣リ繰リ
ヲシテ漸ク歲入ノ辻褄ヲ合シテ居ラレルコ
トハ、取りモ直サズ五億八百萬圓ニ手ヲ付
ケタト云フノモ同然デハナイカト云フ意味
ノ質問ニ對シテ御答ガナカッタノデアリマ
スガ、私ハ今度ノ此減稅ニ對スル財源ハ色
色研究シ調べタノデアリマスガ、此今年ノ
九百萬圓ノ減稅ニ充テル爲ノ財源トシテハ、
獨逸ノ賠償金ノ六百三十萬圓及昭和六年度
ノ葉煙草ノ賠償價格、所謂專賣局ノ特別會
計ノ、此ノ不景氣ニ拘ラズ二千數百萬圓ト
云フ純益ノ増加ニナツテ居ル、其中ニハ此間
モ私、豫算委員會、質問ヲ重ネタヤウニ、葉
煙草ノ賠償價格ヲ今又三百八十萬圓モ引下
ガテ居ル、之ヲ合セテ見ルト、彼レ此レ千
萬圓ニナル、ソレカラ煙草元賣捌ノ廢止、
煙草小賣手數料ノ引下、警察費ノ連帶支辨
ノ補助額ノ六割ヲ三割五分、即チ二割五分
減ヲ行ヒ、此一千五百萬圓、之ヲ彼レ此レ
合セテ見ルト漸ク今回ノ減稅二千五百萬圓
ニ相當シテ來ルノデアリマス、デアリマス

カラシテ、今度ノ減税ハ倫敦ノ條約ニ依テ生ジタ財源ト云フヨリハ、國民ノ收入ヲ減ジ、或ハ減債基金ニ繰入レル所ノ獨逸ノ賠償金ヲ一般會計ニ繰入レルナゾ、色ミナ細工ヲシテ、此財源ハ出タモノデアアル、大藏大臣ガ仰シヤル通りニ、果シテ倫敦條約ニ依ル五億八百万圓ノ中カラ御出シニナルノナラ……サウシテ稅收入ニ相當スルダケノ金額ガ各省ニ於テ節約ガ出來タモノナラバ、獨逸賠償金ヲ繰入レル必要モナシ、昭和四年度ニ煙草ノ賠償價格ヲ一割以上モ下ゲタノニ、今又昭和六年度ニ於テ三百八十万圓ト云フ多額ノ賠償價格ヲ引下グル必要モナシ、又煙草ノ元賣捌制度ヲ廢止スルコトモ要ラズ、又煙草小賣人ノ手數料ヲ減ズルコトモ要ラズ、又國庫ノ警察費連帶支辨金ヲ二割五分減ゼラレルコトモ要ラナイ、是等ノコトハドウナルノデアリマセウカ、是ハ取りモ直サズ、府縣民ノ負擔トナルノデアリマス、府縣民ノ負擔ガソレダケ殖エテ行クノデアリマス、負擔ガソレダケ殖エテ行ク、一方ニ減税ヲ振り翳シ、一方ニ斯ウ云フ負擔ヲ増シテ行クコトハ結果ニ於テ大藏大臣ハドウ御考ヘニナッテ居ルデアリマセウカ、倫敦條約ニ依テ國民ノ負擔ヲ輕クシテヤルト云ウタカラ名前ダケハ減税ト

云フコトヲシテヤル、併シ實際ニ於テハ減税ハ愚カノコト、都市ニ住ム人ハ何十倍ト云フ増税ニナルト云フコトデアルカラ、大藏大臣ノ言ハレル五億八百万圓ノ中カラ今度ノ減税ヲスルノダト云フ頭ハ、私ハサラリト去テ戴カナケレバナラヌト思フ、若シ強ヒテ大藏大臣ガ言ハレルヤウニ五億八百万圓ノ中カラ今度ノ減税ニ依ル一億五千万圓ガ出テ來ルモノナラバ、ナゼ片一方ニ斯様ナ事ヲシナケレバナラヌカ、獨逸ノ賠償金ヲ、繰返サヤウデアリマスケレドモ、一般會計ニ繰入レル、御承知ノ特別會計ニシテ減債基金ニ繰入レルト云フコトノ法律ヲ出シテ、未ダ一回モ行ハズニ又一般會計ニ入レル、煙草ノ賠償金ナドハ私ガ豫算委員會デ申上ゲタヤウニ昭和六年度デ又是ダケノ値下ヲスルコトハ不都合デアリマス、縦カラ見テモ横カラ見テモ不都合デアアル、是ハ又後日詳細ニ論ジテ見タイト思ウテ居ルガ、斯ウ云フモノカラ國民ノ負擔ヲ増シテ、一方ニ減税ヲシテヤルト云フコトハ時宜ニ適シタモノデアアルカドウカ、警察費ノ連帶支辨ガ六割デアッタノヲ三割五分ニ減ジテ、即チ二割五分、府縣ノ負擔ガ多クナルコトハ、府縣稅ヲソレダケ多ク納メナケレバナラヌ結果ニナル、地租、收益稅ガチヨビリ下ッタ

所ガ問題デナイ、デアリマスカラ眞ニ國民ノ負擔ヲ輕クスルト云フノナラ、從來ノ負擔ヨリ何人ニモ成ベク公平ニ、假令二毛乃至三毛デモ平等ニ減税ヲシテ貰ッテコソ始メテ減税ノ價值ガアルノデアッテ、一部ノ人ニ大増税ニナリ、或郡部ノ一部ノ人ハ負擔ガ下ルデアリマセウ、併シソレハ地租ニ於テ下ッテモ、一方ノ附加稅ガ七倍殖エルノデアルカラ、是ハ實際ニ於テ何等減税ニナラヌト考ヘマス、デアアルカラ大藏大臣ノ此委員會ニ於ケル頭ハ、依然トシテ五億八百万圓ノ中カラ御出シニナッタ論ゼラレルノデアラウカドウカト云フコトヲ承テ置キタイ

○國務大臣(井上準之助君) 只今森田サンノ賠償金ノ六百三十万圓ヲ昭和六年度カラ一般ノ政費ニ繰入レマシタコトハ其通りデアリマス、併シ本會議デモ答辯申シマシタヤウニ、各省ノ政費ヲ減ジテ……サウ致シマスト行政ノ機關ヲ其儘ニシテ置イテ、政費バカリヲ減ズルコトハ約合ガ惡イカラ、ソレデ其程度ニ於テ止メテ置イテ、當分ノ間、獨逸ノ賠償金ハ一般政費ニ繰入レテ減債基金ニ之ヲ充當スルコトヲ止メルト、斯ウ云フコトノ意味デアリマス、只今、一度モ實行セズニ直チニ變ヘルト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、昭和五年度ニハ御協贊ヲ經テ六百三十万圓減債基金ニ充當シテアリマス、ソレカラ只今ノ警察連帶支辨金ノコトハ、ソレハ昭和七年カラノコトノ御意味デアラウカト思ヒマス

○森田福市君 勿論サウデス

○國務大臣(井上準之助君) ソレハ必シモ森田サンノ言ハレルヤウナ意味デアリマセヌノデ、アレハ東京府デ申シマスト、十分ノ六ノ連帶支辨金ヲ國庫デ出スコトニナッテ居リマスガ、或事ヲシマス時ニ、國庫ノ分擔金ガ多イト云フコトハ其間ニ可ナリノ弊害モアルノデアリマス、或事柄ヲスル、國庫カラ金ヲ餘計吳レルカラ、サツサトヤレバ宜シイ、斯ウ云フ様ナコトガ是マデ度見エテ居リマスノデ、此國庫ノ警察ノ連帶支辨金ノ十分ノ六ヲ多少變更シヤウ、斯ウ云フコトハ永年ノ間ノ計畫デアリマシテ、是ハ昭和六年度ノ財政計畫ノ意味デアリマセヌノデアリマス、從テ又モウ一ツハ煙草ノ二千万圓ヲ言ハレマスガ、是ハ極ク一時ノ、一年限りノ資金デアリマシテ、是ハ減税ノヤウニ恒久財源ヲ要スルモノトハ、昭和六年度ノモノカラ申シマシタラバ、多少ノ振合デ影響ガアルト申シテ宜シイノデアリマスガ、永年ニ互リマス減税ノ

資金トハ關係ノナイコトデアリマス、サウ云フコトデアリマスカラ減税ノ資金ヲ間ニ合ハセ……繰合セテ拵ヘタカラ、必シモ五億八百万圓ニ手ヲ付ケナカッタト云フ意味デナイト、斯ウ言ハレマスケレドモ、ソレハサウトモ我ミハ考ヘテ居リマセヌ、若シ假ニ申シマシタラ、十五億ノ歳入ノアル時、五億八百万圓アリマス、コレガ十四億圓臺ニ減ジマシタナラバ五億八百万圓ヲモ割減ラシヨナスト、斯ウ云フコトガ當然カモ知レマセヌガ、ソレヲ減サズニ、他ノ政費デ之ヲ減シタト云フ事實ヲ私ハ説明シタ所以デゴザイマスカラ、其點ハドウゾ左様ニ御了解ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、ソレカラチヨット私ヨリモ專賣局長カラ煙草ノ、只今擧ゲラレマシタ賠償金ノ大體ノコトヲ説明イタサセマセウ、只今私ガ附加ヘテ置キマスガ、小賣ノ手数料ヲ減シマスコトハ森田サンノ言ハレル通り、一割一分ヲ一割ニ此七月カラ減サウト、斯ウ考ヘテ居リマスカラ、多少ソレハ煙草專賣ノ歳入ガ殖エルトコトニナル次第デアリマス

○政府委員(平野亮平君) 葉煙草ノ賠償金

ノ引下ノコトニ付テ御尋ガアリマシタノデスガ、是ハ昭和四年度ノ終リニ煙草ノ賠償金ヲ生産費其他煙草ノ需要ノ關係等ヲ調べマシテ、葉煙草ノ賠償金ヲ引下ゲタノデアリマス、ソレハ約百八十八万餘圓ノ引下、ニナツテ居リマスガ、是ハ比較的上級ノ等級ニ屬スル所ノ葉煙草ノ賠償金ヲ引下ゲタノデアリマシテ、其賠償金ヲ引下ゲタノガ豫算ニドウ云フ風ニ影響スルカト申シマスト、葉煙草ハ製造技術ノ關係上、ドウシテモ一箇年間ソレヲ寝カシテ置カナケレバ使ヘマセヌノデアリマスカラ、昭和四年度ニ引下ゲタ賠償金ハ、昭和五年度ノ秋カラ使用スルノデアリマスカラ、ソレガ豫算ノ方ニ響イテ來マスノハ昭和六年度以降デアリマス、ケレドモ昭和四年度ニ下ゲマシタ賠償金ハ比較的上級ノ葉煙草ヲ引下ゲタノデアリマスカラ、其上級ノ原料ハ煙草ノ需要ガ近時非常ニ變テ參リマシテ、上級品ガ少シモ賣レマセヌ、下級品ノミ賣レマスカラ、其上級ノ原料ハ專賣局ハマダ使用スルニ至ラヌノデアリマス、デアリマスカラ賠償金ハ引下ゲマシテモ、其關係カラシテハ少シモ益金ヲ生シテ來ナイノデアリマス、六年度ニハ其關係カラハ生シテ來ナイノデアリマス、ソレカラ昭和五年度ノ終リニ下ゲマシタ賠償金ハ是ハ今森田サンノ御尋ノ中ニアッタノガソレデアラウト思ヒマスガ、三百八十八万圓、昭和五年度ノ終リニ下ゲマシ

タ、ソレハ非常ニ物價ガ下リマシテ、肥料等モ二割五分以上モ下ツテ居リマスカラ、今度ノ其賠償金ノ引下ハ全體ノ等級全部ノ葉煙草ニ對シテ、上級品ノミナラズ下級品モ中級品モ全部ニ對シテ賠償金ヲ下ゲタノガ三百八十八万圓下ゲタノデアリマス、其原料ハ矢張り是モ亦一年間製造技術ノ關係上寝カシテ置カナケレバナラスノデアリマスカラ、昭和七年度以降ノ專賣益金ニソレガ響イテ來ルノデアリマシテ、昭和六年度ニハ何等ノ影響ヲ持テ來ナイノデアリマス、ソレデ六年度ニ下ゲタ下ゲタト云フ御話デアリマスガ、是ハ毎年年末、十二月ニ決定ヲ致シマシテ、サウシテソレヲ翌年ノ秋カラ適用スル賠償價格トシテ官報ニ公示シマシテ、ソレヲ耕作者ガ見マシテ、成程、今年ノ賠償金ハ是レ、斯ク、ト云フコトヲ考ヘテ、耕作ノ意思ヲ決定ヲシテ行ク譯デアリマシテ、ソレハ專賣法デサウ云フ風ニ決マツテ居リマス、豫メ賠償金ヲ定メテ政府ハ告示スルト云フコトニナツテ居リマス、昭和五年ノ末ニ下ゲマシタ三百八十八万ト云フモノハ、是ハ成程安クハナツテ居リマスケレドモ、其品物ガ安イ品物トシテ、一方ノ方ニ資本ノ物品トシテ歸ツテ來ルノデアリマシテ、其品物ヲ賣テ專賣益金ヲ増

加スルノデアリマシテ、六年度ノ益金ニハ少シモ響イテ居ラヌノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 今森田サンノ御聽キ下サル如ク、賠償價格ヲ昭和四年度ニ下ゲマシタノハ、五年ニ其價格ヲ買入レテ、昭和五年ニ賠償價格ヲ下ゲタノハ、昭和六年ノ、是カラ秋ニ現金ヲ拂ヒマシテ、ソレハ資本勘定ニナリマスノデ、其葉ヲ使タ時ニ初メテ煙草ノ益金ガ殖エルノデアリマスカラ、只今仰シヤッタコトハ今ノ豫算ニハ何等關係ヲ致シテ居ラヌノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願フテ置キマス

○森田福市君 先ニ私御尋ネシタノハ分ケテ尋ネル積リデアッタガ、答辯技術ノ上ニ於テア、云フ風ニヤラヌケレバナラヌカモ知レヌガ、私ハ今年ノ減税ノ九百万圓ハ獨逸賠償金、昭和四年度ノ葉煙草ノ賠償價格ノ切下金トニ依ツテ、即チ專賣局長ノ言ハレル通り、昭和四年度ニ拂ツタモノハ即チ昭和六年度ノ收益ニナリ、中一年休マセル、今年ノ昭和六年ニ買ツタ葉煙草ハ昭和七年ハ休マセテ、昭和八年ノアレニナル、中一年寝カシテ置カナケレバ云々ト仰シヤルコトハ、此間カラ屢、聽イテ居リマスカラ、頭ハ頗ル悪ウゴザイマスガ、記憶シテ居リマス、デ今日私ガ言ツテ居ルノハ、今年ノ豫算

ノコトヲ言フテ居ルノデアリマセヌ、今年ノ減税ニ引當テ爾財源ハ獨逸賠償金ト、昭和四年度ノ專賣局ノ葉煙草ノ値下げ等ニ依テ得タモノ約九百万圓、アト昭和七年度カラ持テ行ク一千五百万圓、煙草ノ元賣捌ノ廢止ニ依テ、即チ昭和六年度、之ニ依テ三百八十万圓、警察費ノ連帶支辨ヲ府ニ多クサセルヤウニシテ出タモノ、合セテ一千五百万圓、二千五百五十万圓ト云フモノハ本年入ルノデハナイ、本年ハ政府言フテ居ル通りニ僅ニ九百万圓ノ減税デアッテ、昭和七年度カラ初メテ二千五百五十万圓ノ減税ニナルノデアリマス、從テ財源ト云フモノハ一遍ニ作ラヌデ置イテ、今年ハ取敢ズ九百万圓作レバ宜イ、來年カラ一千五百万圓ニ殖セバ宜イ、ソレヲ私ガ申上ゲルノデハナク、今年ハ此程度ハ之ニ依テ出テ居ルデアリマセヌカ、來年ハ是レノシカクニ依テ出テ居ルノデアリマセヌカ、從テ五億八百万圓ハ出テ居ラヌデアリマセヌカト云フノニ對シテ、政府ハ強チサウデモナイ、矢張り五億八百万圓カラ出テ居ルノデアルト仰シヤルノデアリマス、五億八百万圓カラ出テ居ルナラバ此問題ヲ御扱ヒニナラヌデモ宜イデアリマセヌカト云フノガ私ノ質問ノ要旨デアリマス、若シ政府ガ仰

シヤルヤウニ此全然切り離シテ論ジテモ宜シイ、私ハ寧ロ政府ガ強ヒテ五億八百万圓カラ出シタノダト仰シヤルナラソレデモ宜シイ、同ジコトデアリマス、ソレデモ宜シイガ、片一方ニ於テ國民ノ收入ヲ減ジ、負擔ヲ増サレテ行クコトハ、一方ニ所謂煙草ノ耕作ニ依ル三百八十万圓減セラレル人、ハ何人カト言ヘバ、取りモ直ホサズ葉煙草ノ耕作者ノ收入ガ減ズルノデアリマス、又煙草ノ元賣捌ヲ廢シマシテ政府ガ得ル所ノ金ハ是ハ元賣捌煙草關係者、商店若クハ株主ノ收入ガ減タコトニナル、煙草ノ小賣ノ手數料一分減タコトハ小賣人ノ收入ガ減タコトニナル、警察費連帶支辨金二割五分國庫ノ補助ガ減タコトハ、即チ府縣民ガソレダケ多ク府縣稅ヲ多ク負擔シテ行クノデアリマス、ダカラ結果ニ於テハ國民ノ收入ヲ減ジ國民ノ負擔ヲ増シテ居ル、一方ニソレノ其筋ノ人ニノ負擔ヲ増シ一方ニ於テハ二千五百五十万圓ノ減稅ヲ平等ニシテヤルノナラバ宜シイガ、都市ノ大變ナ増稅デアリ、都市ヲ澤山持ツ縣ハ勿論増稅デアリマス、一方ノ都市ヲ持タナイ田舎ノ縣ハ減稅ニナルノデアリマス、デアルカラ此點カラ論ジテモ一方ニ不公平ナ收入ヲ減ジ、不公平ナ負擔ヲサシテ、不公平ナ減稅ヲサレ

ルト云フコトハ行政家ノ圓滿ナル稅制ノ、稅法ノ組織ト言ハレルデアリマセウカ、私ハ此點ヲモウ少シ、負擔ヲ國民ニ多クサセルナラバ、平均ニサセル、收入ヲ減ジテヤルナラバ、矢張り平均ニ收入ヲ減ジテヤル、負擔ヲ減ジテヤルナラバ平均ニ負擔ヲ減ジテヤルノガ公平ナヤリ方デハナイカト云フコトヲ論ジテ居ルノデアリマス、從テ今ノ立前ヲドチラニ取テ行テモ宜シイ、ドチラデモ宜シウゴザイマス

○國務大臣(井上準之助君) 只今森田サンノ言ハレルコトヲ、御舉ゲニナラレマシタコトヲ一ツ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、煙草ノ賠償金ガ昭和四年ニ決定シテ昭和五年ニ金ハ拂ヒマス、昭和五年ニ決定シタノハ昭和六年ニ拂ヒマスガ、ソレハ煙草ノ益金ソノモノ、即チ豫算ノ上ニハ一厘一毛モ響イテ居リマセヌノデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ三百六十万圓ハ獨逸ノ賠償金カラ來テ、百八十万圓ノ賠償價格ヲ下ゲタコトハ豫算ノ上ニ百八十万圓ノ利益ヲ受ケテ居リマスガ、ソレハ響イテ居リマセヌ、即チ其賠償價格ヲ下ゲタ煙草ヲ使フ時代ニ初メテソレガ煙草ノ專賣益金ガソレダケ殖エル、斯ウ云フコトナリマス、ソレダケハ資本勘定ノ變化ニ依テ

ソレヲ維持シテ居ルノデアリマスカラ、其點ハドウゾ……ソレカラ元賣捌ヲ止メマシテ二千万圓出テ來ル金ハ、是ハ一時的ノ收入デアル、ソレカラ連帶支辨金ノ訂正ニ依リマシテハ、是ハ一ツハ弊害ヲ矯メルト云フコトデアリマスルガ、ソノモノハ一方ニ救護法ヲ實行シヤウ、救護法ト云フ一ツノ事柄ヲ實行スル爲ニ、サウ云フ財源ガ要ルカラソレヲ使フ、即チ一方ニ財源ガアレバ一方ニソレヲ當テニシタ歳出ヲヤッテ、國家ノ必要ナル歳出ヲ計テ行ク爲ニ財源ヲ求メヤウ、競馬法ヲ改正シテ浮キマスモノヲ救護法ニ持テ行カウ、其不足分ハ種々様々ノ財源ニ依ル、斯ウ考ヘマスト、アナタノ言フ如ク減稅ソノモノニ、歳入ノ増エタモノハ全部減稅ニ當テ嵌メテ御考ヘニナルト云フコトハデス、一ツノ考ヘヤウカモ知レマセヌケレドモ、稅ガ殖エル、一方ニハ歳入ガ殖エル、一方ニハソレニ對スル支出ガ殖エル、歳出ガ殖エル、斯ウ云フコトヲ御考ヘ下サッテ、減稅スルト云フコトノ財源ニ付テ御考ヲ伺ヘレバ結構デアリマス

○森田福市君 ドウモ要領ヲ得ヌノデアリマスガ、私ガ問フタモノニ歳出ガ殖エテ來ルモノノガドウモアルヤウニ見當リマセヌ、是ダケノモノハ獨逸ノ賠償金モ歳出ガ殖エ

ヌノデアリマスガ、片一方ノ會計カラ片一方ニ入レルカラ……矢張り煙草ノ賠償價格切下ゲハ是ガ爲ニ歳出ガ殖エルトハドウモ思ヘマセヌ、又煙草ノ元賣捌ノ廢止ニ依リ差引シタ收入ニ對シテ所謂元賣捌ノ手數料ガ要ラヌヤウニナッタ代リニ、役人ナリ配達人ナリ、ソレニ要スル費用等ヲ差引イタ……豫算委員分科會デ仰セノヤウニ一千万圓ト云フモノヲ差引イタ純益デアルト仰シヤッタ、煙草ノ賣捌手數料ヲ一割ニ減ジタコトモ歳出ガ殖エルヤウニ思ヘマセヌ、警察ノ二割五分ノ國庫負擔金ヲ少クシタコトモ、是モ歳出ガ殖エルトハ思ハレマセヌ、矢張り二割五分歳出ガ減タノデアリマス、ソレヲ二割五分少クヤル爲ニ一方ニ歳出ガ殖エルト云フコトハアリマセヌ、併シ是ハ大藏大臣ハドウ御考ヘニナッテ居ルカ知ラヌガ、國庫ノ負擔ヲ二割五分減セバ地方費デソレダケ負擔シナケレバ、地方ニ於テ巡查ノ給料ヲ遣ラズニ置ク譯ニ行キマスマイ、ドウシテモ地方ノ負擔ガ殖エヤシナイカ、ドウモ私ハ殖エルヤウニ思フガ、ソレハ地方ノ負擔モ殖エズニ國庫モ減シテ宜イト云フコトガ出來レバ、ソレニ越シタコトハナイ、是ハ全部サウシテヤッテ貫ヒタイ、實ヲ言フト、私ハソレヲ共ニ希望スル、結局義務

教育費國庫負擔ヲ減シタナラバ地方ノ町村費ガ殖エテ行クト云フコトハ分り切ツタモノト思フ、是等ハ意見ノ相違デモ何デモナイ、單純ナ問題デアリマスカラ單純ニ御考ヘテ願ハバ單純ニ分テ來ルト私ハ思フ

金モ止メルト云フコトハ、救護法ノ費用ニ昭和六年度ハ競馬法ノ改正ニ依ッテ七十萬圓金ガ出來マスガ、昭和七年四月一日カラハ三百万圓金ヲ要スルノデアリマスカラ、其三百万圓ノ金ヲ要スル其財源モ左様ナ所ニ當嵌メタノデアリマスカラ、一方ニ歳入ガアル代リニ歳出ガチヤントソレダケ殖エマス、減稅其モノトハ何モ見合ヒヲ付ケル結果ニナラヌノデアリマス、サウ云フ風ニ御覽下サイマスト能ク御理解下サルコトト考テ居リマス

テ居ラレタノデアリマス
○國務大臣(井上準之助君) 此點ハ度々御說明申上ゲタ如ク、昭和四年度ノ末ニ賠償價格ヲ下ゲマシタノハ昭和五年ノ秋ニナリマシテ煙草ヲ買ヒマス、サウシテ後一箇年之ヲ倉ノ中ニ入レテ置キマスカラ昭和六年度ノ秋カラ之ヲ實際ニ煙草ノ製品ニ使フノガ當リ前デアリマス、ソレニ對シテ私カラモ專賣局長カラモ度々申上ゲタ如ク其賠償價格ヲ下ゲタノハ比較的高級品デアッタノデアリマス、現在ノ煙草ノ需要ハ高級品ノ需要ガナクシテ多クハ下等ノ煙草ノ方ガ殖エテ居ルカラ、其賠償價格ノ下ガッタ煙草ハ昭和六年度ニ使フ餘地ガナイ、從テ專賣局ノ收益ハ何モ關係ヲシテ居リマセヌト斯ウ申シテ置イタノデアリマス、昭和五年度分ハ物價低落ノ爲メ廣汎ニ互ッテ賠償價格ヲ下ゲタカラ、昭和七年度秋カラ其點ハ煙草專賣局ノ收益ニ關係シテ參リマセウ、併ナガラ昭和四年度ニ下ゲテ五年度ニ實行シタモノハモウ昭和六年度ハ使用イタシマセヌ

○國務大臣(井上準之助君) 先刻分ケテ申上ゲテ居リマス、獨逸ノ賠償金ガ減債基金ノ繰入ヲ止メテ一般ノ歳入ニ之ヲ充當スルコトニ致シマスコトハ、確カニ全體ノ財政狀態ガ今日ノ行政組織デ是以上ニ金ヲ減スコトハ困難デアルカラト云フ一時ノ處置トシテ、賠償金ヲ繰入レタノデアリマス、ソレト後デ御舉ゲニナル事例トハ違フノデアリマス、何故違フカト云フト、煙草賠償價格ハ一文モ豫算ノ上ニハ響イテ來テ居リマセヌ、安ク煙草ヲ買ッテ、其煙草ヲ使フ時代ニ始メテ專賣ノ收益ガ殖エマスカラ、何モ豫算ノ上ニハ今日マデ響イテ來テ居リマセヌ、煙草元賣捌ヲ止メタ二千万圓ハ昭和六年度限りノ一時ノ歳入デアリマスカラ、減稅ト見比ベテ付ケテ下サルト恒久財源ニハナラヌノデアリマス、ソレナラバ二千万圓ノ臨時收入ガアッタナラバ、ソレヲ減稅ニ振向ケタノデハナイト云フカ知ラヌガ、豫算ヲ御覽下サレバハチヤント歳出ニ充當スルヤウニナッテ居リマス、ソレカラ連帶支辨

○森田福右君 今ノ煙草ニ序デニ這入ッテ來タノデアリマスカラ、梟ヲ付ケルコトニシテ……煙草賠償價格ノ問題ヲ能ク何シテ置キタイト思ヒマスガ、今政府ノ仰シヤッタノヲ聞キマスト、是ハ私ノ考ヘテ居ル所ト其處ニ多少違ヒガアルカ知ラヌガ、昭和四年度ニ買入レタ煙草ハ五年度ニ休マシテ、六年度ニハ煙草トナッテ出ルト云フヤウニ先般來御話ニナッタ、即チ中一年ヲ休マシテ置クノダト仰シヤッタガ、今度ハ中二年モ休マセナケレバナラヌヤウニナルガ、私ハ先般來昭和四年度ニ買入レタモノヲ五年度ハ倉庫ニ置イテ、サウシテ六年度カラ製品ニナッテ現ハレテ來ルカラ、六年度カラ豫算ノ利益勘定ニナルト云フヤウナ意味ニ話ラシ

○委員長(伯耆柳澤保憲君) 宜シウゴザイマス

○長岡隆一郎君 關連事項デチヨット御尋ネシタイト思ヒマス

○長岡隆一郎君 私人ハ只今ノコトニ關連

○長岡隆一郎君 私人ハ只今ノコトニ關連

○長岡隆一郎君 私人ハ只今ノコトニ關連

○長岡隆一郎君 私人ハ只今ノコトニ關連

第四部第十五類 地租法案特別委員會議事速記錄第二號 昭和六年三月十二日

第七

第七

第七

シテ五六分デアリマスガ伺ヒタイ、只今井上大藏大臣ノ御説明ニ依テ疑ヲ生ジタノデアリマスガ、來年度ノ救護法ノ財源トシテ警察費ノ連帶支辨金ヲ御減額ニナル、マダ其豫算ヲ拜見シテ居ラナイノゴザイマスルガ、新聞デ見マスルト警視廳、及大阪府ノ警察費ニ對スル國庫下渡金ヲ減少サレテ居ル、斯ウ云フヤウニ承テ居リマス、所デ警察費ト云フモノハ無論減額スルコトハ出來マセヌ、唯人口何人ニ付テ巡查何人、巡查ノ服ハ一年ニ夏服ハ何著、冬服ハ何著ト云フヤウニ警察費ト云フモノハ極メテ伸縮力ノ無いモノデアリマスカラ、東京府ノ警察費、大阪府ノ警察費ト云フモノハ殆ド削減ノ餘地ガ無い、削減スルトスレバ、機密費ノ僅カバリヲ減スト云フコトデアリマセウ、サウシマスト國庫下渡金ノ減リマモノハ東京府稅、大阪府稅之ヲ負擔シナケレバナラスト云フコトニナリマス、斯ウ云フ理窟ニナリマスガ、救護法ノ施行ノ爲ニ捻出スル財源ト云フモノハ結局國庫ノ中カラ財源ヲ捻出シタ如ク承テ居、タノデアリマスガ、只今ノ御説明ノヤウデアルト、結局國庫ノ負擔スル分ハ地方費ニ轉嫁シテ東京府民、若クハ大阪府民ノ負擔増加ノ下ニ救護法ヲ實行スルト云フ風ニ結果ガナル

ト承知シテ宜シイノデアリマスカ、ソレカラ馬券買得稅ノコトモ御話モ出マシタガ、競馬法ノ改正ノ結果財源ガ何十萬圓ヲ捻出サレルト云フコトデアリマスガ、今迄府縣ノ馬券買得稅ト云フモノハ收入ガゴザイマス、之ヲ色ミナ理由カラシテ買得稅ニ變ヘテ府縣ニ公納金ヲ納メテ居リマスガ、是ハ從前ノ儘府縣ニ納メサセテ、サウシテ國家トシテ競馬法改正ノ金ガ殖エル譯デゴザイマセウカ、或ハ府縣ニ對スル馬券買得稅ニ變ヘテ納メテ居ル公納金ハ止メテ國庫ノ收入ハ殖エルノデアリマセウカ、其事ハ關連シテ居リマスカラ是ハ別問題ノヤウデアリマスガ、ソレダケ心得ノ爲ニ伺テ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 第二ノ問ニ對

シマシテハ大分込入テ居ルヤウデアリマスカラ直接內務大臣ナリ農林大臣カラ御答スル方ガ宜イト思ヒマスガ、前ノ方ノ問題ハ私カラ御答ヘ致シマスガ、要スルニ昭和六年度ニ三箇月分救護法ヲ施行シヤウ、ソレニ對シテ七十萬圓ノ金ガ得ラレマスカラ三箇月實行シヤウ、デ本年度ニハ三萬圓ト凡ソ計上シテ居リマス、其點マダハキリ致シマセヌ、併ナガラ國カラ要スル金ガ三百万圓斯ウ考ヘテ居リマス、豫算ノ立前カ

ラ申シマスト三百万圓ノ恒久財源ヲ要スル、今ノ財政計畫ノ中ニ昭和七年度カラ三百万圓ノ金ヲ要スルト云フコトガハキリシタ以上ハ、ソレニ對シテ凡ソドウ云フモノヲ目當テニスルカト云フコトヲ極メテ置カナケレバナリマセヌ、ソレデアリマスカラ、此點ハ十年計畫ノ概計表ノ意味カラ云テサウ云フモノヲ凡ソ心當テニ決キテ居リマスモノハ、只今言ヒマス競馬法ノ改正ノ爲ニ百万圓以上ノ金ガ出テ參リマス、ソレカラ只今連帶支辨金ノ改正ニ依リマシテ百万圓以上ノ金ガ出テ參リマス、又假ニ不足イタシマシタナラバ、一般財源カラ出テ參リマスト云フノデアリマスケレドモ、左様な曖昧ナ意味デハ財政計畫ガ立タヌノデアリマスガ、不足分ノ金ハ今般關稅ガ少シ變リマスガ、ソレノ差引ヲ致シマシテ多少ノ金ガ餘リマスノデ、ソレヲ引當テニスル、斯ウ云フコトニ大體ノ心積リヲシテ居ルノデアリマス、ソレガ即チ財政ノ立前デ、今年三箇月實行スルカラ、昭和七年度カラノ財政ノチヤント見當ガ付イテ居ナイヂヤナイカ、斯ウ云フコトハ不可能ナ、出來又計畫デアリマスカラ、其處デ立テテ居ルノデアリマス、連帶支辨金ノコトハ長岡君モ御承知ノ如ク警視廳ノ十分ノ六ト云フ奴ハ御聞キニナッタコトハアリマセウガ、可ナリ弊害ガアル、何トカシテアレヲ多少ヅツ減シテ行キタイト云フコトハモウ二三度內務省ト可ナリ交渉ヲシテ居ルノデアリマシタガ、中ミ容易ニ運ビマセヌノデスガ、大藏省ノ何ト云ヒマスガ、段々請求ヲ容レテ內務省ニ於キマシテモ、其弊害ヲ認メテ相當ノ程度ニ改正シヤウ、一遍ニ綺麗ニ改正スルコトハイカヌガ、漸次改正ヲシテ行カウ、サウ云フコトヲ一方ニハ考ヘル、一方ニハサウシテ來ルト、割合カラ言テ大阪モ多少變ヘナクチヤナラヌ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ進ンデ居リマス、ソレナラソレガ全ク地方ノ負擔増加ニナルカト、斯ウ云フコトニナルト、今マダ其處ノ點ガ行テ居リマセヌガ、私ハ各地方ノ警察ハ今日ノヤウナ財政狀態カラ言フト、非常ニ節約ノ餘地ガアル、斯ウ云フコトヲ非常ニ主張シテ居リマス、併ナガラ節約バカリデ必シモ其改正ガ出來マスマイ、ソレデアリマスカラ多少サウ云フコトニナリマセウ、ソレナラバ地方ノ稅ノ殖エルコトヲ何ニ依テ支辨スルカト云フ問ニナリマスト、丁度大阪東京ノ方ハ地租ノ附加稅ガ殖エル、ソレモ多少考ヘノ中ニ入テ居ル、元來地租ノ附加稅ガ殖エルナラバ、ソレハ他ノ稅デ減ス、戶數

割トカ家屋税トカ云フコトデ減スコトニナッ
テ居リマスガ、ソレニ多少ノ手加減ヲスル
ヤウナ必要ガ起キテ來ルカモ知レマセヌ、
併シ財源ガナイト云フ、斯ウ云フ御尋デア
リマスナラバ、サウ云フ風ニ進ンデ行ッタナ
ラバ、アノ弊害ノアルモノガ整理ガ出來ル
ガラウト考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 此問題ハチヨット此減稅
案ト關係ノナイ問題ニナリマシテ、此問題
ノ爲ニ此本案ノ審議ノ進行ヲ妨ゲルコトハ
本意デゴザイマセヌカラ、是ハ他日豫算ガ
本院ニ廻リマシタ時ニ、其豫算總會其他デ
又御質問申上ゲルコトニ致シマス、但シ只
今ノ御答辯ハ甚ダ奇々怪々ナコトガアルノ
デ、頗ル満足イタシマセヌガ、其コトヲ又
申シマス、長クナリマスカラ申シマセヌ
ガ、唯警察費ノ不足ヲ今回ノ地租附加稅ヲ
増徴シ依テ補フト云フコトノ御答辯ハ、是
ハ他日本案ニ付テ私ハ質問ヲ致ス時ニ關係
ヲ持ッテ參リマスカラ、其コトハ御記憶ヲ
願ッテ置キマス

○森田福市君 先ツ第一ニ私ハ今ノ續キデ
アリマスガ、其前ニ昨日長岡サンカラ各
各町村別五年度稅收入總額、戶數割總額、家
屋稅附加稅、地租附加稅、制限内徵收稅額
竝ニ改正稅法ニ依ル平年度地租附加稅制限

内徵收稅見込額ト云フ此參考書類ニ出テ居
ルノト、長岡サンガ昨日仰シヤッタ以外ニ、
福岡縣ト廣島縣ノヲ御出シ願ヒタイト思ヒ
マス、其理由ハ私ハドウモ土地ヲ澤山持ッテ
居ル府縣ハ今度ノ減稅デ何等ノ恩典ニハ與
ラナイヤウナ氣持ガスルカラ見タイノデア
リマス、但シ數字ノ間違ヒナイモノヲ御出
シヲ願ヒタイ、私モアチラニチラ問ヒ合シ
テ居リマスガ、中ニハ稅務監督局ナドハ出
サヌノガアルサウデアリマス、問ウテヤル
ト云フト帝國議會デ審議中ダカラ之ヲ今出
スト叱ラレルカモ知レヌカラト言ッテ、馬
鹿ナコトヲ言ウテ控ヘル、控ヘル必要ハナ
イ、控ヘルコトヲ出スノガカラ繰リガ
アルノヂヤナイカト云フ氣ガスル、地方デ
出スノハ出シ惡イ、中央デ出スノハ出シ宜
ト云フヤウナコトハナイ、ドチラモ同ジモ
ノガ出テ來ナケレバナラヌト思フガ、取敢
ズ今ノ二ツヲ、先ツ私ノ調ベタ範圍ト政府
ノ出スノヲ對照シテ見タイカラ至急ニ御出
シヲ願ヒタイ、ソレカラ本論ニ戻ルノデア
リマスガ、昨日チヨット話ガ出テ居リマシタ
ガ、私ハ至極御尤モナコトデアルト聞イテ
居ッタノデアリマス、即チ此財源ノコトニ付
テ、昭和七年度以降ニ必要ナル財源ガ、海
軍トカ、陸軍トカ云フ問題ヨリ外ニ、昨日

御話ニナッタ米穀法ニ依テ一億五千万圓ハ
何レ交付公債カ何カニナルノデアリマセ
ウ、其外ニ例ノ蠶絲補償法ニ依ル三千万圓
モ矢張り交付公債ニナサルノデナイカト思
フ、現金デナサルカ、公債デナサルカ分ラ
ヌガ、現金ハナイノデアリマセウカラ交付
公債ニ依ルノデアリマセウ、或ハ今出テ來
ル失業公債三千五百万圓、米穀法ニ依ッテ生
ズル一億五千万圓モ是モ亦假リニ交付公債
ニスルト、合セテ此金ガ約二億四千万圓
ニナル、其他ニモ交付公債ガアリマセウ、
調ベテ居リマセヌガ……此二億四千万圓
ノ利息ヲ六分利トシテ計算シテ見テモ、政
府ノ發行スル公債ハ五分利デアアルガ、ソレ
ハ御承知ノ額面デアアルカラ手取りノ御計算
デ五分ヲ掛ケテ行クコトハ出來ナイ、六分
ノ金利ヲ計算シテ二億五千万圓ニ掛ケテ見
ルト、チヨット宙ニ考ヘテ見テモ一千五百万
圓ノ財源ガ來年若クハ再來年カラハ必ず必
要ニナッテ來ル、是等ニ對シテハドウ云フ方
面ニ茲ニ財源ガアルノデアリマセウカ、
承ッテ見タイノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 二ツニ分ケテ
答辯申シマス、蠶絲補償法ノ交付公債ハ
最近ニモ出テ參ルカモ知レマセヌガ、三千
万圓ト假定イタシマシテ、ソレニ對スル利

拂減債基金ハ財政計畫ノ中ニチャント入レ
デゴザイマス、唯米穀法カラ來ル一億五千
万圓ノ損失ガアル、ソレヲ交付公債ニ依ル
カ、如何ナル整理方法デヤルカ、何レニシ
テモ一般會計ニ之ヲ引取ッテ何等カノ整理
ヲセヌケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居
リマスガ、今年ノ財政狀態デハ此整理案ハ
立タナカッタ、又一方カラ言フト米穀法ノ根
本ガ定ッテカラ後ニ之ヲ整理スルコトモ遲
クナイ、斯ウ考ヘテ今般ノ財政計畫ノ中ニ
ソレハ這入ッテ居リマセヌ

○森田福市君 這入ッテ居ラヌトスルト、
將來政府ハドウサルル積リカ知ラヌガ、要
スルニ斯ウ云フ方面ニハ又借金ヲ増シテ、
其利拂ヒヲ一般會計ニ入レルコトニナルト
何カニ頭ヲ出ス、即チ法律ノ稅率ノ改正ニ
依ッテ頭ヲ出スカ、或ハ所得率トカ、收益率
ノ計算ヲスル手加減ノ分ノ誅求ニ依ルカ何
カニ依テ斯ウ云フモノノ利子ノ負擔ハ矢張
リ國民ガシテ行カナケレバナラヌ、直接負
擔シナケレバナラヌモノデアルト考ヘテ居
リマス、サウスルト此不公平ナ減稅ヲヤ
テ、而モ政府ノ考ハ私ハドウ御考ヘニナッテ
居ルカ知ラヌガ、農村ガ困ッテ居ルト云フ聲
ガ大キクナレバ直ニ農村ノ方ヲ輕クシテ、
都市ハ除カレヤウナ御考デアアルカ知レマ

第四部第十五類 地租法案特別委員會議事速記第二號 昭和六年三月十二日

セヌガ、都市ガ三十八割、三倍八割ノ増收ヲ受ケル程都市ガ盛ナヤウニモ私等ハ見受ケラレヌノデアリマス、一部ノ色ミナ特別ノ商賣ヲシテ居ル人ハイザ知ラズ、一般ノ此商賣ヲシテ居ル者、商賣ヲシテ居ラヌ者デモ、月給取デモ、都市ニ住ンデ居ル者ガ三十八倍ノ收入ガ増シテ來ルヤウナ考ハ全然持タレナイ、政府ハソレヲ持ッテ居ラレルヤウニ思ハレルコトカラシテ、私ハ怪訝ニ堪ヘヌノデアリマス、ソレハ併シサウ政府ガ思ハレルナラ已ムヲ得ヌガ、ソコ等モ一ツドウ云フ理由デ、都市ニ三十八倍モノ増稅ヲセラレルカト云フコトモ追ミニ聽イテ見タイノデアリマス、ソレカラ今序デニ、葉煙草ノ問題デアリマスカラ、此問題ノ切リヲ付ケテ置ク方ガ宜イト思ヒマスルガ、後戻リ致シマスガ、賠償價格ヲ政府ハ三百八十万圓ト仰シヤルガ、ココニ出テ居ルノハ一箇年四千万圓、過去一箇年ニ四千万圓買ハレルノニ、優等ガ十三圓ガ十一圓下テ居ルカラ、是ガ約一割五分デアリマス、中ニハ七等ノ如キ二圓六十錢ガ二圓十錢ニ下テ居ル、約一割四五分デアル、一割五分賣、テ二割五分ノ減額ヲ行ッテ、全額三百八十万圓、一割ニ達セヌト云フノハ、ドウ云フ算盤ノ仕方デアリマスカ、伺ヒタイ

○政府委員(平野亮平君) 只今ノ御問ヒニ對シテ、一應御答ヘ致シタイト思ヒマス、今ノ森田サンノ御尋ハ、等級ノ比較ノ割合ニ付テ何割下テ居ルノニ、全體ノ割合カラシテ僅ニ八分ト云フヤウナコトハドウ云フ譯カ、斯ウ云フヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ等級毎ニ非常ニ生産數量ガ違フノデアリマス、全體ノ葉煙草ノ賠償金ハ別ニ書イテアリス、全體ノ葉煙草ニ付キマシテハ三千四百四十萬圓、廣島地方デ作ッテ居リマス外國ノ葉煙草「バージニヤ」ノ種類ヲ内地米葉ト申シテ居リマス、廣島縣其他瀬戸内海沿岸デ作ルノデアリマスガ、是ガ六百三十餘萬圓、總體ガ四千万圓、是ハ賠償金ノ總金額ニ對シテ、五年度ノ末ニ引上ゲマシタ三百八十万圓、斯ノ如ク等級ヲ基トシテ引下ヲ行ッテ結果デス、總體ノ引下ノ總金額ガ三百八十八萬圓ニナルノデアリマス、ソレハ等級毎ニ數量ガ違ヒマスカラ、ソレデ三百八十八萬圓ト云フモノヲ四千万圓ニ比較イタシマスト云フト、約八分ノ引下ニナルト、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○森田福市君 是ハ其妙ナコトヲ御説明ニナッタガ、等級ニ依ッテ單價ガ違ッテ居ル、目方ニ單價ヲ掛ケタモノガ金額ニナッテ來ルノデアルカラ、總額ガ四千万圓ト出テ居ルノハ色ミノモノガアリマセウ、優等カラ十等迄、各種ノ等級ニ分レテ居リマセウガ、下ノ等級ヲ見テモ、一割五分以下ノ値下ノモノハナイ、甚シイノハ二割五分、一番少ナイノガ一割五分サウスト一番少ナク下ゲテ一割五分ノモノノミ數量ヲ茲デ見テモ、八分ノモノガ出來居ル勘定ガ私ハ腑ニ落チナイ、又政府ハ今迄ニ等デ取ッテ居ッタモノヲ、今度ハ優等ニ取ッテヤルト云フケレドモ、一等ハ一等、七等ハ七等ト各等トシテ取ルノナラバ、一番下ノモノヲ、一割五分ノモノヲ全部買入レルト假定シテモデアリマスガ、矢張り金額ニ於テモ、一割五分下ガラナケレバイカヌノデアリマセウカ、私ノ言フノハ目方ニ單價ヲ掛ケタモノガ金額ニナル、然ラバ一割五分以上二割五分下ゲルノデアルカラ、二割五分ノモノハ御説ノ通り賠償數ガ少ナイト假定シテモ、一番澤山アル……七八等ガ一番多イノデアリマス、是ハ專賣局長モ能ク御承知ノコトデアリマセウガ、七八等ガ一番多イノデアリマスガ、假ニ一步ヲ讓ッテ、一番下ゲタ率ハ單價ノ下ゲ率ノ少ナイモノヲ一番多ク買入レタト假定シテモ、矢張り總額ニ於テハ一割五分減ルベキモノデアリマスマイカ、若シソレガ、ソナラバ全部下ゲ率ヲ

入レ、サウシテ十割ツタモノガ平均下ゲ率ニナッテ來ルノデアリマスカラシテ、今仰シヤッタノヲモウ少シ徹底スルニハ、三百八十万圓ノ中デ、何處ハ何ニ入ル、何處ハ何ニ入ルト云フコトヲ、是ハ算盤ニ入レテ見レバ早ク分リマスガ、三百八十万圓ト云フ金額ハ、何ト仰シヤッテモ今言ウタヤウナ方法デ出シ行クヨリ他ニ道ハナイノデアリマス

○政府委員(平野亮平君) 今ノ御尋ハ、等級毎ノ割合カラ見タラ一割以上ト云フヤウナコトニナルノニ、其總體ノ引下ノ割合ガ一割以下ニナッタノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ御尋ニ伺ヒマスガ、實ハ是ハ等級……差上ゲタ表ニモアリマスケレドモ、等級ノ除斥ニヤッタ分モ入ッテ居リマス、茲ニ五年度ノモ持ッテ居リマスガ、翌年度モサウデアリマス、煙草ノ等級ガ、優等カラ最初十六等マデアッタノデアリマスガ、ソレヲ段々等級ヲ整理シマシテ、十二等ニ減ラシ、而モ今年八十等ニ減ラシ、等外ニ除斥シタルモノモアリマス、總體ノ金額ヲ私ハ今ノ八分ト申シマシタノハ、平年作ニ換算シマシテ、平年作ニ換算シマス云フト、總體ノ賠償金ガドレダケ必要デアル、ソレハ今年ノ引下ニ於テ換算ヲシテ見マズルト、ソレニ合

シテドレダケノ引下ニナルカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、決シテ此數字ハ間違ヒハナイと思ヒマス

○森田福市君 數字ニ間違ヒガナイナラバ三百八十万圓ヨリ餘計ニナテ、一割五分ト見テモ六百萬圓ノ增收ト云フカ、賠償價格ガ下ルト云フカ、數字ニ間違ヒガナイナラ、サウナルヂヤアリマセヌカ、三百八十万圓ノ數字ノ出タ根據ハ是デハ簡單過ギル、詳シク根據ニナルモノデモ御出シナレバ得心ガ行クカモ知レマセヌ、是ダケノモノニ依テ行ケバ、單價一割五分乃至二割五分……一番安イ單價ノモヲ買入レルト假定シテモ、其金額ニ於テモ矢張り一割五分下ルヂヤアリマセヌカ、斯ウ申上ゲテ居リマスカラ、ソレニ對シテ其然ラザル所以ヲ何カ根據ヲ示シテ話サレナイト、話ガ合ハヌト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 今專賣局長官カラ説明申上ゲタ如ク、多數ノ等級ノアルノヲ、等級ヲ整理イタシマシタ結果ガ、以前ノ等級ニ依テ見マスト、森田サンノ言ハレタ通りデアリマスガ、等級ヲ整理シタ後ノ今日カラ行ケバサウナリマスカラ、ソレハ一ツ早速表ニ作テ差出スコトニ致シマス、サウシタ上デ御覽ヲ下サレバハ、キ

リ致シマス等級ノ整理ヲ致シタモノガ……
○森田福市君 ソレデ結構デアリマス、等級ノ整理ハ、併シ七等ト十一等、十二等ガナクナッテ居ルダケデアアル、サウ大シタ種類ガナクアッテ居ラヌ程デアリマス、書類ヲ作テ賠償額ヲ付ケテ御覽ナサイ、何トカ賠償額ハ付クダラウガ、ソレハ話シテ見ルヨリカナカナカムツカシイカラ、ヨウ作ラント思ヒマス、ソレカラ今ノ賠償價格ヲ下ゲル、是

ガ根本ノ問題デアルガ、地租法ノ今回改正ヲ審議シテ居ルガ、地租ノ賃貸價格ヲ調ベタノハ、大正十五年ノ過去五年間ノ平均賃貸價格ニ依テ調ベタ、當時葉煙草モ相當宜イ値段デアッタ、其値段デ、當時ノ賃貸價格ニ依テ調ベタモノニ對シテ、今回三三ポイントハ課税シテ行クノニ、昭和四年、六年度ニ下ゲ、二回モ引下ヲ行ク場合ニハ、賃貸價格ニ依リ課税ヲスルコトハ不合理ト思ハレマセヌカ、ドウデアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 本會議デシタカ、外ノ豫算委員會デシタカ、御説明申上ゲマシタ如ク、賃貸價格ヲ調ベタ時ノ煙草賠償價格ハ今トハ違フ、日本全國ニ於テ五百萬カラ違ッテ居リマス、ソレデアアルカラ其三三ポイントハト云フコトハ、不公平デナイカト斯ウ思ハレルノデアリマスケレドモ、

他ノ農作物ハ皆下ッテ居リマス、即チ調査イタシマシタ、地代ト今日ノ田地畑ノ收穫物モ下ッテ居リマス、煙草ノ賠償價格モ下ッテ居リマス、宅地ノ賃貸價格モ下ッテ居リマス、從テ皆ガ……日本全體ガ下ッテ居ルカラ、其賃貸價格ヲ調査シタ時代ト今日ニ於キマシテハ在ル物ノ間ニ不正サヘナケレバ宜イト斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、只今言ハレル如ク、米バカリヲ作ルモノト、ソレカラ煙草バカリ作ルモノトノ間ニ、非常ニ差ガアレバ不正デアアル、斯ウナリマスケレドモ、米ガ下ガッテ農作物ガ下ガッテ來レバ、今度ハ煙草ノ賠償價格モ下ガ

ル、其間ニ釣合サヘ取レテ居レバ差支ナイト考ヘマス
○森田福市君 今ノ農産物ガ一般ニ下ッテ居ルコトハ認メルノデアリマス、是ハ當然何處デモ下ッテ居ル、農産物ガ一般ニ下ッテ居ルト云フコトハ聞カヌデモ分ッテ居リマス、其一般ニ下ッテ居ルト云フコトガ、同じヤウニ賃貸價格ニソレガ調べ上ゲラレテ居ルモノナラバソレデ宜イ、此間豫算委員會デモ申上ゲタ、サウシタラ專賣局長ハ麥ヲ取ラストカ小豆ヲ取ラストカ云フコトデアリマスガ、アノ議論ハモウ今日ハヤルマイト思フガ、麥モ小豆モ皆取りマス、要スル

ニ煙草ヲ作ル所ノ畑ト……是ハモウ麥ハ關西地方デハ一毛作デ取ッテ、夏作トシテ煙草ヲ作ル爲ニ、或ハ小豆ヲ作ルトカ大豆ヲ作ルト云フコトガアルノデアリマス、デアアルカラ、ソコデ煙草ヲ作ル畑ノ賃貸價格ヲ定メルニハ、當時ノ煙草ノ價格ヲ以テ賃貸價格ヲ定メルノデアリマス、小豆、大豆ナドヲ作ル畑ハ又大豆、小豆ノ當時ノ價格ニ依ッテ賃貸價格ヲ調ベタノデアリマス、デアアルカラ煙草ノ方面ニ向ッテハ、此賠償價格ヲ下ゲルト云フコトハ豫メ豫期シテ居ナカッタカラ、賃貸價格ノ調査委員會デモ、此煙草ヲ作ル畑ニ對シテハ掛ケハ八掛トカ七掛トカ云フコトニシナカッタノデアリマス、是ハ稅務監督局ノ人が居ラレレバ能ク分ッテ居ルト思フ、掛ケハ後ノ所ヲ、畑ニシテモ田ニシテモ、ソレノ實際收入ニ持ッテ行ッテ何程カ手加減ヲ加ヘテ、是ハ物ト場所トニ依ッテ違フノデアリマスカラ、ソレヲ詳シク言フト時間ヲ要シマスガ、煙草ノ分ニ向ッテハ豫期シテ居ナカッタカラ手加減ヲ用キナカッタ、土地ノ價格ノ算出ニ依ッテヤッタノデアアル、ソレダカラ其モノガ二回モ三回モ引下ゲラレテ行クト、サウシテ今日ノヤウナコトニナルト、非常ニ他ノモノト比較シテ、農産物ガ下ッタカラト云フ分デハ全ク話ガ

出合ハナイデヤアリマセヌカ、農産物ガ下ヲタト云フコトハ私勿論認メテ居リマス、ソレハ政府カラ説明ヲ聽カナクテモ能ク分テ居リマス、農産物ガ下ヲタカラ何トカシテ農民ヲ救ハナケレバイカヌト云フコトヲ私ハ言フテ居ルノデアアルカラ、農産物ノ下ヲタコトハ御聽カセ下サラヌデモ百モ千モ知テ居リマス、ケレドモ今ノ問題ハ他ノ農産物ノ下ルコトハ豫メ多少ノ豫期ヲシテ、手加減ヲ加ヘテ賃賃價格ヲ定メタガ、政府ガ買上ゲルモノマデ下ルトハ思ハナカ。タカラ、煙草ノ方ハ歩合ヲ大體ニ於テ下ゲテ居ナイ、下ゲル歩合ヲ見込ンデ居ナイノデアアル、ソレヲ二度モ三度モ連續的ニス様ニ引下ゲルト云フコトハ、而モ前後合セテ約四割位下ゲテ居ルカト思ヒマスガ、新ニ下ゲラレテ來タ結果トシテ、賃賃價格ニ依ッテ三・八ノ課稅ヲシテ行ク、ソレニ依ッテ又府縣市町村ノ附加稅モ掛ケラレテ行クト云フコトニナルト、煙草ヲ作ル爲ニ負擔ヲ大キクシナケレバナラヌト云フコトニナリハシナイカ、ソレニ對シテ政府ハ斯ウ言フデセウ、養蠶モ下テ來タ、農産物モ下テ來タ爲ニ、煙草ノ耕作ガ殖エ過ギテ來テ困テ居ルト云フコトヲ言フデセウガ、一度下テ又斯ナニ下タト云フコトニナルト、今

度ハドウシテ宜イカ分ラヌ、政府ハソレハ昭和六年ノ煙草ニ適用スルノデアアル、細カナ詳シイコトハ官報ヘ告示シテ云々ト仰シヤルガ、官報ナドヲ百姓ナドハ取テ居ル者ハアリハシマセヌ、商人ヤ會社デモ、官報ヲ取ッテ居テモ、一々讀ミハシマセヌ、チヨット見タヤウナ印ヲ付ケル位ノコトデアリマス、官報々々ト言フケレドモ、一々官報ヲ讀ンデ居ル者ハアリハシマセヌ、サウシテ又此問題デモ今度ノヤウニ手酷ク下ゲテ、煙草ノ耕作ニ押スナク行テ困ルノヲ止メヤウト言フテモ、ソナコトハ今年ノ結果ガ來テカラダナケレバ分リマセヌ、ソレヲ知ラズニ豫メ斯ウ云フ負擔ヲ酷クナサルト云フヤウナコトハ、ドンナモノデアアルカ、ソレデモ公平ダト仰シヤルナラバ、ソレ以上ハ議論ニナリマスカラシマセヌガ、實際鬼ニ角オヤリニナッタコトハ拔打チデアアル、公平デモ何デモナイ、豫算一分科會ニ於テハ、大藏大臣モ專賣局長モ耳ニ聒胝ノ出來ル程御聽キニナッタカモ知レマセヌガ、昭和四年ノ煙草ノ賠償價格ヲ下ゲタコトハ宜シクナイ、ソレト事業者ノ販賣價格ヲ下ゲヌコトガイケヌト云フコトハ、毎日論シタコトデアアル、ソレニ又一割五分乃至二割下ゲルト云フヤウナコトハ、

如何ニモヤリ方ガ酷過ギル、苛斂誅求ヲシテハイケヌト云フコトハ、決議ニマデ附ケテ置イタノニ、マダ半日一日モ經タヌ中ニ復斯ウ云フコトヲヤルト云フコトハ甚ダ議院ヲ踏付ケタコトデアアル、親切ヲ缺イタコトデアアルト思フ、而モ煙草ノ問題ニ對シテハ、非常ニ議論ヲサレテ、其議論サレタコトヲ何等考慮ノ中ニ入レテ居ラヌト云フコトガ茲ニ現ハレテ來タ、アレダケノコトヲ言ウタノデアアルカラ、賣ル方ノ價格ヲ依然トシテ下ゲル意思ガナイト云フナラバ、從來ノモノヲ繼續シテ置カナケレバナラヌノデアアル、ソレヲ又直ニ、苛斂誅求ヲナサルナト云フコトノ警告的決議マデシタニ拘ラス、直ニ又半日一日ヲ置イテ苛斂誅求ノ書類ヲ我ニ御配リニナルナルト云フコトハ、甚ダ不快デアリマス、是ハ私一人チヤゴザイマセヌ、一分科會ニ於テ愉快ニ思ッテ居ル者ハ一人モアルマイト思フ

○政府委員(平野亮平君) チヨット森田サシノ御尋ネニナリマシタコトニ誤解ガアツテハイカヌト思ヒマスカラ、私カラチヨット申上ゲタイト思ヒマスガ、其昭和六年度ニ適用スル煙草ノ賠償價格ヲ引下ゲタノハ、昨年ノ十二月デアリマス、サウシテソレハ官報ニ告示シテアルノデアリマス、今度貴族院デ問題ノ起タ後ニ何カ抜打的ニサウ云フコトヲヤッタト云フノデアリマセヌ、ソレレハ先達テモ申上ゲマシタヤウニ、毎年專賣局デハ十二月ニ賠償價格ヲ決メテ、サウシテ一月ノ官報ニ告示シテ、詰リ五年ノ末ニ決メタモノヲ、六年ノ一月ノ官報ニ、六年ノ煙草ニ適用スルモノハ左ノ通りデアルト云フヤウニ致シテ居ルノデアリマシテ、別ニ貴族院デ問題ニナッタ後ニ、後カラ急ニ思付イテ賠償價格ヲ下ゲルコトニ決メタノデアリマセヌ、其點ヲ一應誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○森田福市君 イヤソナコトハ誤解モ八カイモアリマセヌ、其點ハ私モ能ク知ッテ居リマス、當時私ガ豫算總會デ申上ゲタヤウニ、昭和四年ニ下ゲタノヲ議論シタノデアアルカラ、アノ時ニ序ニ是モ仰シヤレバ宜イ、實ハ昭和六年分ハ一層下ゲル積リデ、去年ノ十二月ニ賠償價格ノ引下ヲ決メテ、ソレヲ一月ノ官報ニ載セテアルト云フコトカラシテ、昭和四年ノ賠償價格ヲ下ゲタコトヲ議論シテ居ルノダカラ、其時ニ實ハソレハソレ以上ニ行ッテ居ルノダト云フコトヲ一緒ニ仰シヤレバ宜イノニ、當時ハソレハ何モ仰シヤラズニ置イテ、突然出タカラ、是亦石渡サンナドノ御話ニモアッタヤウニ、

ドウシテモ是ハ拔打ノコトニ見エ、十二月ニ決定シテ一月ニ官報ニ發表シテ居ルモノデアリマスレバ、分科會ニ於テ默テ居ラレヌデ、ソレモ一緒ニ、來年ハマア斯ウ云フ風ニ下ゲルト云フコトヲ言ヘバ、今茲デ問題ニハナラヌデ濟ム、其時ニ既ニ話ハ付イテ居ルノデアリマス、ソレヲ仰シヤラヌデ置イテ、……是ハ誤解デモ何デモアリマセヌ、アナタノ言フコトハ分テ居リマス

○國務大臣(井上準之助君) 森田サン、併シ只今ノ分科會ニ於テ希望決議ノ附イタノニ拘ラズ、半日一日モ經タヌ中ニ斯ウ云フコトヲヤルト云フ意味デハ毛頭ナイノデアリマス、昨年ノ十二月ニ決行シテ居ルコトヲ御知ラセスル手續ガ粗漏デアリマシタカ、政府委員カラ申上ゲルコトガ粗漏デアリマシタカ知レマセヌガ、只今ノヤウナ意思ナリ事情ハ毛頭ゴザイマセヌカラ、其點ハ御諒解ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保憲君) 休憩イタシマス、午後一時ヨリ開會イタシマス
午後十一時五十一分休憩
午後一時十八分開會
○委員長(伯爵柳澤保憲君) 休憩前ニ引續イテ開會イタシマス

○國務大臣(井上準之助君) 先刻ノ御質問

ニ對シテ答辯ガ殘テ居リマシタノハ、大會ニ於テ稅ガ五百万圓殖エ、斯ウ云フコトハ甚ダ今日ノ經濟狀態ニ於テ不都合デナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシテ、是モ本議會ニ御質問ガゴザイマシタ時ニ申シテ置キマシタヤウニ、今日ノヤウナ狀態デ左様ナコトノ出來マスコトハ、誠ニ遺憾ニ思ヒマスケレドモ、元來ガ賃賃價格ノ調査ヲシテ地租法ヲ變ヘヤウト云フコトハ、負擔ノ公正ヲ圖ルト云フコトカラ出發イタシマシタ結果デアリマシテ、只今ノヤウニ仰シヤラレルコトガ半面カラ申シマス、左様ナ事情デアリマスガ、半面カラ申シマスレバ、農村デハ是マデ……何ト申シマスカ、地租法ノ改正ニ依ッテ減ジラレル、斯ウ云フコトノ結果ヲ見マスノデ、農村ノ負擔ガ低減シテ、市街地ノ宅地ノ方ノ殖エマスノラ減ズルコトニナレバ、矢張り再ビ負擔ノ公正ハ保テヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、苟クモ負擔ノ公正ヲ圖ラウ、ソレハ賃賃價格ノ調査ニ依ッテヤラウ、斯ウ云フコトヲ決メマシタ以上ハ、已ムヲ得ナイ事情デアリマスカラ、其點ニ付テハ我々ハ、已ムヲ得マイ、斯ウ考ヘテ居リマシタ次第デアリマス、先刻三十八割トカ云フヤウナ増稅ニナルト云フ御話デアリマシタガ、其

點ハ先刻聽洩ラシマシタカラ、算盤ヲ採ッテ見サセマス、左様ナ意味ニモナリマセヌヤウデアリマスカラ、若シ其點ガ何カ根據ノアル數字デゴザイマシタラ、モウ一度仰シヤッテ頂クト……分リマシタ、ソレナラバ、全ク稅ノ殖エタノハサウ云フ意味ヂヤアリマセヌ、或ル一種ノ土地ガ、例ヘテ見レバ、何十年間ノ間ニ今ノ地價ニ依ル地租ヨリカ十倍ニ殖エテ居ルト云フト、ソレデハ餘リ急激ニ殖エテ、無理ダカラ三倍八割ニ止メテ置カウ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレト全體ノ五百万圓ガ増稅ニナッテ居ルコトトハ、全ク違ッテ趣意デアリマスカラ、是ハ御承知ヲ願ヒマス

○森田福市君 委員長ニ御尋ニスルノデスガ、若シ今外務大臣ト海軍大臣ト御出デニナルノデシタナラバ、其上デ御進メニナッラドウデス

○委員長(伯爵柳澤保憲君) 海軍大臣ガ御出席ニナリマシタガ御質問ガアリマスカ

○水野鍊太郎君 外務大臣ハ直グ見エマスカ……ソレヂヤ外務大臣ト御列席ノ方ガ宜イト思ヒマスカラ……

○水野鍊太郎君 昨日ハ私ハ大藏大臣ヲ通シテ外務大臣竝ニ海軍大臣ニ御答ヲ得ルヤウニ御願ヒシタノデアリマスガ、幸ニ今日

○水野鍊太郎君 昨日ハ私ハ大藏大臣ヲ通シテ外務大臣竝ニ海軍大臣ニ御答ヲ得ルヤウニ御願ヒシタノデアリマスガ、幸ニ今日

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ、今回英佛伊ノ三國ノ間ニ海軍問題ニ關スル協定ガ成立シタヤウニ、新聞ニ傳ヘラレテ居リマスルガ、協定ガ成立シタト云フ言葉ハ正確デハゴザイマセヌ、即チ海軍問題ニ關シマシテ英佛伊ノ三國ガ、長イ間ニ互ッテ意見ヲ交換イタシマシテ、大

ハ兩大臣ノ御出席ガアリマスカラ、質問ノ要旨ヲ更メテ申上ゲマス、新聞紙ニ依ッテ承知イタシタノデアリマスガ、此度佛蘭西、伊太利間ニ協定ガ出來マシテ、海軍ノ問題ニ對シマシテ條約ガ出來ルヤウニ承知イタシテ居ルノデアリマス、其事實竝ニ内容等ハ、全ク私ハ知ラナイノデアリマスガ、唯新聞紙ノ報道ニ依リマスルト、佛蘭西ノ海軍ハ大分擴張ニ相成リ、殊ニ潜水艇ニ於テハ、倫敦條約ニ於テ日英米ノ協定シタル數量ヨリハ多イカノ如ク見エテ居ルノデアリマス、此條約ハドウ云フ風ニ出來上ラタノデアリマスカ、又之ニ對シテ帝國政府ハ如何ナル態度ヲ御取リニナルノデアリマスカ、又此條約ト云フモノハ、倫敦海軍條約ニドウ云フ影響ヲ及ボシマスルカ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテ御話ガ出來ルコトニナリマスルナラバ、一應承知イタシテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ、今回英佛伊ノ三國ノ間ニ海軍問題ニ關スル協定ガ成立シタヤウニ、新聞ニ傳ヘラレテ居リマスルガ、協定ガ成立シタト云フ言葉ハ正確デハゴザイマセヌ、即チ海軍問題ニ關シマシテ英佛伊ノ三國ガ、長イ間ニ互ッテ意見ヲ交換イタシマシテ、大

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ、今回英佛伊ノ三國ノ間ニ海軍問題ニ關スル協定ガ成立シタヤウニ、新聞ニ傳ヘラレテ居リマスルガ、協定ガ成立シタト云フ言葉ハ正確デハゴザイマセヌ、即チ海軍問題ニ關シマシテ英佛伊ノ三國ガ、長イ間ニ互ッテ意見ヲ交換イタシマシテ、大

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ、今回英佛伊ノ三國ノ間ニ海軍問題ニ關スル協定ガ成立シタヤウニ、新聞ニ傳ヘラレテ居リマスルガ、協定ガ成立シタト云フ言葉ハ正確デハゴザイマセヌ、即チ海軍問題ニ關シマシテ英佛伊ノ三國ガ、長イ間ニ互ッテ意見ヲ交換イタシマシテ、大

體是ダケノ條件ナラバ話ガ纏マルデアアラウト云フ、基礎ノ話合ガ纏マッタト云フダケノコトデアリマス、何等協定ニ調印サレタト云フモノデハナイノデアリマス、デ其話合ノ末出来マシタ骨組ヲ一ツ覺書ニ致シマシテ、昨日發表サレタノデアリマス、其發表サレマシタ覺書ナルモノハ、全文ハ我々ノ方ニハマダ電報ガ參テ居リマセヌノデ、本日新聞ニ現ハレテ居ルコトガ事實デアアルカドウカト云フコトヲ、私ガ今日確ニ申上ゲルコトハ出来マセヌガ、只今申シマシタ如ク、御注意ヲ願ヒタイ第一點ハ、即チ協定ガ成立シタト云フ譯デハナイ、話合ガ大體纏マリマシテ、之ヲ日本ト亞米利加政府ニ通知ヲ致シテ、日米兩國政府ノ意見ヲ問ウテ參テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ程度デアリマシテ、確定セル協定案ガ出来タノデハナイ、ノミナラズ、第二ニ、殊ニ其中ノ潜水艦ノ問題ニ付キマシテ、英吉利自身モマダ同意ヲ與ヘテ居リマセヌ、英吉利自身ハ、此佛蘭西ノ主張ニ係ル潜水艦ノ保有量ハ過大ニ失スル、過大ニ失スルカラ、何レ明年即チ千九百三十二年ノ軍縮會議、ジユネーヴニ於ケル軍縮會議ニ於テ、更ニモウ一遍話合ヲ致シテ、何等カノ佛蘭西政府ノ再考ヲ促シ、話合ヲモウ一遍繰返シテ見ル積

リデアアル、斯様ニ申シテ居ルノデアリマス、尙ホ第三ニ附加ヘテ申上ゲマスコトハ、今回ノ話合ト申シマスノハ、主トシテ千九百三十六年迄ノ造艦量ニ付キマシテ暫定的ニ取極メタモノデアリマシテ、其何レノ艦種ニ付キマシテモ、之ヲ以テ恆久的ノ比率ヲ決定セルモノデナイト云フコトヲ、ハッキリ了解事項ノ中ニ書イテアルノデアリマス、今回ノ出来上リマシタ話合ナルモノハ、只今申シタ如キ性質ノモノデアリマシテ、謂ハ、甚ダ未確定ノモノデアリマス、而シテ日本竝ニ亞米利加ハ、爾來此問題ニ關係イタシマシテ、英吉利政府ト意見ノ交換中ナノデアリマス、極ク大體カラ申シマシレバ、佛伊兩國間ノ海軍問題ハ、極メテ複雑セル、解決ニ極メテ困難ナル問題デアッタノデアリマスルガ、英吉利政府ガ熱心ナル努力ト斡旋ニ依リマシテ、今日ノ程度マデ先ヅ一應漕付ケタノデアリマス、而シテ是ガ愈、成立イタシマシタルト云フト、將來ノ一般ノ軍縮事業ノ進捗ニ貢獻スル所ガ極メテ大ナルモノガアルト認メラレノデアリマシタルカラ、其目的カラ申シマシテ、我々ハ同情ヲスベキ性質ノモノデアリマス、日本ガ原動力ニナッテ此申合セヲ打破ルト云フヤウナコトハ、致シテハナラヌト考ヘルノデ

アリマスルケレドモ、今回ノ話合ノ各條項ニ付テ考ヘテ見マスルト云フト、餘程日本トシテモ考究ヲ要スルモノガアルノデアリマス、從テ我々ハ率直ニ、日本ノ見ル所ニ付キマシテ、英吉利政府ト只今意見ノ交換中デアリマス、亞米利加モ意見ノ交換中デアルト承テ居リマス、從ヒマシテマダ今日ノ所デ、ドウ云フ點ニ付アドウ云フ申出ヲ日本ガ英吉利政府ニ致シテ居ルカト云フコトヲ明言イタシマス時期ニハ達シテ居リマセヌノデアリマス、大體ノ成行ハ只今申上ゲタ所デ御了解ヲ願ヒタイと思ヒマス

○水野鍊太郎君 事實ノ大要ハ能ク了解イタシマシタ、成程只今マダ條約ガ成立シテ居ルノデモナク、ソレ程進ンデ居ラヌト云フコトデアリマセウ、併シ凡ソ將來英佛伊ノ間ニ於キマシテノ意思ノ疏通ハ、此間ニアタコトト思フノデアリマス、只今ノ外務大臣ノ御言葉ノ中ニ、日本ニモ通知ガアッタ云フコトデアリマスルカラ、恐ラクハ其内容ニ付テモ大體ノ點ニ付テノ通知ノアッタコトト思フノデアリマス、マダ是ガ確定シテ居ルノデナク、從テ日本ガソレニ付テ態度ヲ極メル迄ニ行ッテ居ラナイ、英吉利、亞米利加等ノ狀況ヲ見ネバナラヌノデアリマスルカラ、此問題ニ付テ今日日本ガ斯ウ云フ態度ヲ極メテ居ルト云フノデモナク、從テ其コトヲ只今我々ニ御示シニナルコトガ困難ナコトハ御尤デアリマス、但シ英吉利デアリマシタカ……英吉利カラ日本政府ニ對シテ通知ガアッタト云フコトデアリマシラバ、大凡ソ其内容ノ或ル主要ナル點ニ付テハ、日本政府ニモ通知ガアッタコトト思ヒマスガ、新聞紙ナドニ依リマスト、大分詳シク出テ居ルノデス、而シテ此新聞紙ノ報道ハ、是ハ必シモ私ハ頭カラ嘘ヲ言ウテ居ルモノトハ思ハナイ、殊ニ是ハ内地ノ……日本ノ新聞ニ出テ居ルノミナラズ、外字新聞等ニモ出テ居ルノデ、大體私ハア、云フコトデナイカト考ヘル、其點ニ付キマシテ、今政府ニ於テドウ云フ方針ヲ取ルトカドウ云フ態度ヲ執ルトカ、斯ウ云フコトヲ御聽キスルコトハ早イト思ヒマスカラ、ソレハ申上ゲマセヌガ、大體ニ於テノ趣旨ハ新聞ニ出テ居リマスコトト餘リ遠ヒハナイノデアリマセウカ、其所ダケハ御差支ガナケレバ承テ置キタイ

○國務大臣(男爵幣原重厚郎君) 只今申シマシタ如ク、英吉利佛蘭西伊太利ノ間ニ、話合ノ大體、寧ロ一應纏マリマシタコトハ、覺書ト致シテ新聞ニ發表イタシタノデアリマス、其發表イタシタモノガ、今日外國電

報ニ依リマシテ日本ノ新聞ニモ傳ヘラレテ居ルノデアリマスガ、大體ハ私モ新聞ニアリマスコトヲ誤リナイト考ヘマスル、併シ只今申シマシタ如ク、一應話方纏マッタ申シマシテモ、潜水艦ノ問題ニ付キマシテハ、英吉利ハ明カニ、佛蘭西ノ之ニ依テ要求シテ居ル量ハ過大アルト云フコトガ、ハッキリ書イテアリマス、從テ千九百三十二年ノ軍縮會議ニ於テ、更ニ此問題ニ付テ話合ヲスルト云フコトガ書イテアルノデアリマス、從ヒマシテ此覺書トシテ發表サレタ事項ハ、英佛伊ノ三國ノ間ニモ最終的ノ確定イタシタモノデハナイト御了解願ヒタイノデアリマス、併シ新聞ニ表ハレテ居リマスコトハ、大體誤リハ傳ヘテ居ナイト、私モ新聞ヲ讀ンダノデアリマス

○水野鍊太郎君 エライ固クナッテムツカシク申スノデハアリマセヌガ、只今御話ノ程度以上ノコトノ御話ヲ承ルノデナク、例ヘバ新聞等ヲ見マスルト、申ス迄モナク英吉利ノ外務大臣ガ佛蘭西ニ於テ之ニ付テ種種斡旋ノ勞ヲ執ツタ、サウシテ幸ニ三國間ニ協定ヲ得タト云フ風ニ、私ノ見テ居ル新聞ニハアルノデアリマスガ、其結果ガ此度ノヤウナ覺書トシテ出來タコトト思フノデアリマス、私ハ新聞紙ニ依テ見タノデアリマ

スケレドモ、只今政府ニハマダ公式ノ通知ガ無イト云フコトデアアルガ、併シ英吉利政府カラノ通知ガアッタト云フ以上ハ、其内容ニ付テモ大體通知ガアッタト思フノデアリマスカラ、ソレマデ今話ガ出來ナイト云ヘバ、是ハ其以上承ハルコトヲ致シマセヌガ、凡ソノコトハ新聞等ニ表ハレテ居ルモノト見テ差支ナイノデアリマセウカ、而シテ此事ハ固ヨリ今日確ニ決マッタノデナク、イツレ新聞ニモ書イテアリマス通り、千九百三十二年、即チ來年ノ……「ジュネーヴ」ダト思、テ居リマスガ、「ジュネーヴ」ニ於テ更ニ軍縮ノ會議ヲスルト云フヤウナコトデ、最後ハ或ハ其處デ決メルノデナイカト思ヒマス、併シ其所マデ決マルカ決マラヌカ、是モ分リマセヌガ、併シ骨子ハ凡ソア、云フヤウナ程度ニ於テ、三國間ノ意思ノ疏通ヲ見タモノデハナイカト思フノデアリマス、ソノナヤウナ御話ガ出來ヌト云フコトデアリマスレバ、私ハ之ニ付テ是以上伺フコトヲ止メマス、併シソレニ依ッテ日英米ノ間ニ締結サレテ居ル倫敦條約ノ關係ニ於キマシテ、私ハ憂慮ヲ致スノデアリマス、且又日本ノ將來ノ海軍ノ問題、竝ニ之ニ伴フ財政計畫等ニ關シマシテモ、國家ノ大局カラ見マシテ、心配ヲセネバナラヌト云フコト

ヲ考ヘテ居リマスノデ、ソレヲ外務大臣ニ伺ッテ居ルノデアリマス、只今外務大臣ハ餘リニ餘計ナコトヲ言フコトヲ避ケルカノ如ク御見受ケシタノデアリマスガ、ソレ以上言フコトガ出來ヌト仰シヤレバ、モウソレ以上承ハラウトハシマセヌガ、モウ少シ打解ケテ御話ガ出來、サウシテソレガ差支ナイト云フコトデアリマスレバ、承リタイ、併シ出來ヌト仰シヤレバソレデ宜シウゴザイマス

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 私ガ先刻、未ダ電報ハ受取、テ居ラヌト申シマシタノハ、英吉利デ發表シマシタ電文ヲ未ダ受取、テ居ラヌト云フノデアリマシテ、三國ノ間ノ話合ノ内容ニ付キマシテハ、固ヨリ詳細ナル通知ハ受ケテ居リマス

〔水野鍊太郎君「受ケテ居リマス」カト述フ〕
受ケテ居リマス、ソレニ對スル所ノ意見ヲ、日本政府ノ意見ヲ問ウテ參、テ居ルノデアリマス、從、テ之ニ對スル意見ハ申入レテ居ルノデアリマス、英吉利政府ニ申入レテ居ルノデアリマス、如何ナル點ニ於テ、ドウ云フ理由ニ依、テ意見ヲ申入レテ居ルカト云フコトハ、是ハマダ今日ノ程度ニ於キマシテハ所謂意見ノ交換中ニアリマスカラ、

之ヲ申上ゲルコトハ少シク早カラウト思フノデアリマス、殊更ニ私ハ祕密ニスルト云フ意味デハナイノデアリマス、新聞ニ出テ居リマスコトハ我ミガ英吉利政府ノ、内容ニ付テ、通知ヲ受ケテ居リマス所ト、少クトモ私ノ見マシタ限りニ於テハ、大差ハナイ、大體アノ通りデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、詳シク一々文句ニ付テ對照イタシタ譯デハアリマセヌケレドモ、私ノ讀ンダ所ノ新聞ノ私ノ印象デハ、大體間違ヒハ無イ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ只今申シマシタ如ク、其今日ニマデ至ッタ英吉利政府ノ努力其多大ナルモノデアルト云フコトハ、我ミハ十分認メマス、又佛蘭西、伊太利間ニ於ケル海軍問題ノ協定ト云フコトハ、非常ニ至難ナル問題デアリマシタノガ、ドウヤラ今日斯クマデニ漕付ケタト云フコトハ、誠ニ是ハ至極結構ナコトデアリマシテ、他日軍縮ノ……一般ノ軍縮事業ニ付キマシテ、是ハ非常ニ良イ貢獻ヲ致スモノダト云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマスルケレドモ、今回ノ話合ノ個々別々ノ問題ニ付キマシテモ、日本トシテモ大ニ考ヘナケレバナラヌコトガ、相當ニアルト考ヘテ居リマス、是等ノ問題ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ考究ヲ遂ゲマシテ、我ミノ考ヘル

所ヲ率直ニ英吉利政府ニ申入レテ居ルノデアリマス、此我ノ申入レタ點ヲ、只今茲デ申上ゲルト云フコトハ、甚ダ不穩當ナコトト考ヘテ居リマシテ、是ハ申上ゲル時機デハナカラウト云フ趣意申上ゲヌノデアリマス、併シ新聞ニ現ハレテ居リマスコトハ、私ノ見ル所デハ大體間違ヒハナイ、斯様ニ考ヘテ私ハ讀ンデ居ルノデアリマス、佛蘭西ト英吉利ト伊太利ト斯ウ三國會議ヲ開イタノデハナイノデアリマシテ、英吉利ノ海軍大臣ガ、佛蘭西ヲ訪問シ伊太利ヲ訪問シテ、話合ヲ今日マデ付ケタノデアリマス、從ヒマシテ一ツノ書付ニ調印ヲ致シタト云フ譯デハアリマセヌカラ、其文句モ、又條項ノ正確ナル意味モ、今少シ確メル必要ガアル點モアルノデアリマス、本日新聞ニ出テ居リマスガ、英吉利ノ外務省デモ、此字句ニ付テハ未ダ最終的ノモノデナイト云フコトモ發表イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、今日ハ全ク其程度デアリマス、而シテ先刻モ申シマシタ如ク、其中デ殊ニ潜水艦ノ問題ニ付テハ、英吉利自身自身ガ未ダ之ヲ同意シテ居ラヌト云フコトヲ申シテ居リマス、佛蘭西ノ要求量ハ過大デアルト認メル、斯様ニ英吉利ハ申シテ居ルノデアリマス

○水野鍊太郎君 能ク分リマシタ、詰リ此度ノ英佛伊ノ間ニ申合セト申シマスカ、相談シタ要點ハ大體新聞紙ニ掲ゲテアル事實ト違ハナイト思フ、多少ノ文句ノ違ヒハアルガ、大體ハ違ハナイ、サウシテ日本政府ハ之ニ對シテノ態度ハ研究中デアリ、又英吉利等ニ照會中デアアル、此事ハ今日發表スル時期ニ達シテ居ラヌ、ソレハ今述ベラレタノデ、是モ尤ナコトト思フカラ、マア諒承イタシマス、モウ一ツダケ私ハ承テ置キタイ、一體倫敦會議ニ於キマシテモ、五ヶ國協定ト云フコトガ主眼デア、タカト思フ、然ルニ佛伊ハ之ニ加入シ得ナカッタ結果トシテ、日英米ノ間ニ所謂三國協定ガ成立シテ、三國間ダケノ協約ガ出來タ、此度英吉利ハ非席ナ努力ヲ拂ヒ非常ナ苦心ヲシテ、佛蘭西伊太利ト共ニ海軍ニ關シマシテノ條約ノ基礎トナルヤウナ或ル相談ガ出來タ、斯ウ云フコトデアリマス、而シテ是ガ條約トシテ成立ツニ付キマシテハ、固ヨリ亞米利加ノ意見モ問フ、日本ノ意見モ問ハナケレバナリマセヌ、其所ニ行キマス日本トシテハ、非常ナ慎重ナ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌコトニナルノハ言フマデモナイ、而シテソレ等ノ間ニ十分ナル「アンタラント」ガ出來マシタ以上ハ、倫敦條約ノ三國協定ノ問題ガ

更ニ五ヶ國協定トナツテ、五ヶ國間ノ海軍條約ト云フモノニ相成ルノデアリマスルカ、ソレトモソレハ全ク別デアツテ、日英米ノ三國ト英佛伊ノ三國ト是ハ別々ノ條約トシテ成立テ行クノデアリマセウカ、其所ハドウナツテ行クノデアリマセウカ、是モ或ハ將來ノコトデアアルカラ話ハ出來ヌト仰シヤレバソレマデデアリマスガ、是ハ元來倫敦會議ノ當初ノコトニ遡テ見マスレバ、五ヶ國條約ニナルベキモノデアッタラウカト考ヘラレルガ、而シテ其結果ト云フモノガ日本ノ海軍問題ニモ影響ヲ來シ、從テ茲ニ問題トナツテ居リマス、財政計畫ニモ多少ノ影響ヲ及ボスモノト私ハ考ヘマスカラ、此點ヲ御伺ヒスルノデアリマスガ、是モ私ハ成ルベク御五ニ、差支ナイ限ハ御五ニ意見ヲ交換シ、肚ヲ打開シテ共ニ俱ニ國家ノ將來ヲ憂ヘタイト云フ趣旨デ御尋ネスルノデアリマスカラ、サウ云フコトハ言ヘヌト云フコトデアレバソレ以上申上ゲマセヌガ、其點ハ如何デスカ

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 誠ニ御尤ナコトデアリマシテ、私モ敢テ秘密ニスルト云フ意思ハ毛頭ナイノデアリマス、併ナガラ只今御問ヒニナリマシタ點ハ實ハ二說アルノデアリマス、即チ英吉利佛蘭西伊太利ノ三國ノ共同宣言ノ形ニ止メテ置ク方ガ宜イデハナイカト云フ説ガアリマス、又日本モ亞米利加モ之ニ加入シテ五國ノ共同宣言ニスル方ガ宜イデヤナイカト云フ説モアリマス、而シテ此伊太利、英吉利、佛蘭西ノ三國ハ之ヲ必ズシモ五國ノ共同宣言、又ハ協定ト云フ形式ニシタイト云フコトヲ主張ハシテ居リマス、是ハ今後ノ話合ノ次第デ何レトモ決定シ得ルモノダラウト考ヘマス、而シテ今回ノ話合ノ中ニハ英佛伊ノ三國ハ倫敦條約ノ第三編、即チ補助艦ニ關スル件ノ條項ハ今回ノ協定ニ違反セザル限リ全部之ヲ承認スルト云フコトヲ明言イタシタノデアリマス、サウ云フコトデアリマスカラ、日本ト致シマシテハ強ヒテ此形式上五國デナケレバナラヌト云フ理窟ハナカラウト思フノデアリマス、英佛伊ノ三國デ是ハ共同宣言ヲ致スト云フコトニ致シマシテモ、日本トシテハ差支ナイコトト考ヘテ居リマス、此問題ハ實ハ隱スノヂヤアリマセヌ、實際マダ二説ガアツテ、トモ定マテ居ラヌノデアリマスカラ、今後ノ話合ニ依ツテ決マルモノデアリマスカラ、今日ノ所ハマダ未確定ト申上ゲル外ハナイノデアリマス

○水野鍊太郎君 只今ノ外務大臣ノ御説明

デ大體ノ趣旨ハ分リマシタ、私ハ是デ満足ヲ致シマス、外ニ之ニ付テノ御質疑ガナケレバ、幸ヒ海軍大臣ガ御出席デアリマスカラ、私ハ海軍ノ問題ニ付テ財政計畫ト伴ヒマス、此法案ト伴ヒマシテ私伺ヒタイト思ヒマス

○主査(伯爵柳澤保惠君) チョット伺ヒマ

スルガ、他ノ委員ノ方デ外務大臣ニ御質問ガアリマスレバ此際ナサレバ如何デスカ、ゴザイマセヌカ

○水野錬太郎君

ソレデハ私ハ海軍大臣ニ

御尋ネ致シタイ、海軍ノ兵力量トカ海軍整備問題ニ付キマシテハ、昨年来種々ノ問題ガ起テ居リマス、私ハ斯カル紛争ノ起タコトヲ心カラ遺憾ニ思テ居ルノデアリマス、併シ兎ニ角色ミノ形ニ於テ種々ノ問題ガ起タト云フコトハ事實デアルト思ヒマス、ソレデ私海軍ノ將來ノコトニ付テ御尋ネ致シテ置キタイト思ヒマス、此度倫敦ニ於ケル日英米間ノ條約ニ依リマシテ千九百三十六年ニ至ル間ノ協定ハ出來タノデアリマスガ、之ニ付キマシテ海軍當局ト致シマシテハ、此條約上ノ兵力ヲ以テシテハ足レリトシナイト云フノカ、不安デアルト云フノカ、是デハモウ少シ何カ外ニ考慮セネバナラスト云フヤウナ御考ガアッタヤウニ思

ヒマス、即チ潜水艇ト云フヤウナ問題モアッタノデアリマス、之ヲ補充スルガ爲ニハ或ハ飛行機ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト云フヤウナコトガアッタ結果、倫敦條約ニ依ル海軍ノ費用ノ外ニサウ云フ缺陷ヲ充スト云フ意味デアリマシタカ、一億何千万圓ト云フモノガ餘計ニナッテ、確カソレガ三億四千七百万圓デシタカ、五百万圓デアッタカト思ヒマスガ、ソレガ此度此昭和六年度以降ニ於ケル豫算トシテ海軍ヨリ提出セラレタノデアリマス、併シ海軍ノ方面カラ言フト、國防ノ計畫ト致シマシテハ、必ズシモ之ヲ以テ足レリトシテ居ルノデハナイノデアリマス、尙ホ望ムラクハモウ少シカ、ヨリ以上ノ要求ヲシタイト云フ御考ガアッタコトモ事實デアラウ思フ、併シ今日ノ財政ノ實況ニ鑑ミ、一面ニ於テハ國民負擔ノ輕減モセネバナラスト云フコトヲ御考慮ニ御入レニナッテ、今日ノ状態トシテハ已ムヲ得ナイカラ、此程度ヲ以テ先ヅ一段トシテ満足スル、斯ウ云フコトデ此度ノ豫算ガ出來タモノデハナイカト推察スルノデアリマス、ソレハ誠ニ海軍當局ノ方トシテ、又財政當局ノ間ニ御相談ガ成立ッタコトハ、國家ノ爲ニ喜ブノデアリマス、併ナガラ此海軍ノ計畫、之ニ對スル豫算ノ内容ヲ見マスルト、海軍

ニ於テ今後尙ホ是以上ノコトヲ考ヘネバナラスト云フ御考ガアルコトモ亦御尤モト思フ、殊ニ此度ノ豫算ニ付キマシテ見マスルト云フト、艦艇ノ維持費ノ如キガ豫算ノ上カラ見タラ私十分デナイカト思フノデアリマス、ソレハ恐ラク私ハ海軍ノ當局者モ左様ニ御考ヘニナッテ居ルノデハナイカト思フ、ソレ故昨日モ私ハ此點ニ付テ大藏大臣ニ伺ッタノデアリマスガ、大藏大臣ハ海軍ノ費用ハ隨分尨大デアル、ソレデアルカラ其費用ノ中カラシテ維持費位ハ出セナイコトハナイガラウ、マアドノ位ニナリマスカ、千五六万位ニナリマスカ、或ハ多ク見積テ二千万圓位ニナリマスカ、要スルニ其位ノ費用ハ海軍ノ費用カラ出ヌコトハナイ、斯ウ云フ風ナ御趣旨ノヤウデナカッタカト思フ、若シ間違チ居リマシタラ御訂正ヲ願ヒマス、成程是ハ一説ト思フ、今日ノ状態デ警澤ナコトヲスルコトガ出來ナイノデアルカラ、サウ海軍ノ費用ノミニ餘計ヲ費スコトハ出來ナイ、成ルベク御互ニ節約シテ貰テ、其範圍デ以テヤッテ貰ヒタイト云フ財政當局者ノ御意見モ尤モデアアル、併ナガラ事實ガ足リナイ、事實ガ足リナクテ國防ニ缺陷ヲ來スト云フコトデアアルナラバ是ハ考ヘネバナラスト思ヒマス、海軍當局者ニ於

テ御考ヘニナルノモ固ヨリ、我々豫算竝ニ財政計畫ノ審査ニ與テ居ル者モ之ニ對シテハ慎重ニ考ヘテ行カネバ相成ラヌト思フ、ソレ故海軍大臣ニ對シテ御伺ヒシタイノハ、只今ノ計畫、殊ニ其中ニ維持費ガ足リナイヤウニ見エテ居リマスガ、ソレハ差支ナイノデアアルカ、ソレヲ以テ支辨シ得ラレルト御考ヘニ相成ルノデアリマスカ、ドウデスカ、ソレヲ第一ニ承リタイ、ソレカラ世間デハ第二次補充計畫トカ云フ言葉ヲ使ッテ居ルノデアリマスガ、海軍ノ此度ノ計畫ヲ以テ國防上十分デナイノデアアルカラ、何レ此先二年先ニナルカ、三年先キニナルカ更ニ第二次計畫ヲサネバナラスト、之ニ付テモ財政上カラモ餘程考慮シテ置カネバナラスト云フコトヲ言ヒマス、私モ或ル點カラ見マスレバ左様デアラウト思フ、決シテ之ヲ以テ今度ノ計畫ノミヲ以テ足レリトシテ居ルノデハナイ、ソレ故ニ是ガ昭和八年ニナリマスカ、九年ニナリマスカ、ソレトモ十年ニナルカ知レマセヌガ、其間ニハ第二次計畫ト云フカ、何ト云フカ言葉ハ何レデモ宜シウゴザイマスケレドモ、今日ノ計畫以外ニ更ニ計畫ヲ樹テテ、此費用ヲ要求セネバナラスト時機ガ來ルト思フ、而シテ今日第二次計畫ト云フテ、ソレニ一億七千

万圓要ルトカ、何トカ言テ居リマスガ、是ハ私ハマダ海軍デ左様ナ御確定ニ相成テ居ルトハ思ハナイ、是ハ對外、外國ノ狀況モ考ヘナケレバナラス、又製艦技術ノ問題諸種ノ四圍ノ狀況ヲ考ヘネバナラス、今日確カニ第二次計畫ナルモノガアリ、而シテ之ニ要スル費用ガ一億何千万圓ト云フヤウナモノハ決テ居ラヌト思フガ、併シ其計畫モ決マラズ費用モ決マラヌガ兎ニ角現狀ヲ以テシテハ足レリトシナイノデアアルカラ、何レノ時カ更ニ之ニ追加スル所ノ計畫ヲサネバナラヌト云フコトダケハ事實デアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、是ハ昭和八年ニナリマスカ、九年ニナリマスカ、其時ニ於テハ必ズ相當ノ費用ヲ海軍トシテ要求セネバナラヌト思フ、其要求ノ額ガ一億圓ニナリマスカ、其以內ニナリマスカ、ソレ以上ニナリマスカ分リマセヌガ、其時ニハ確カニ費用ヲ要求シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ私ハ局外カラ見テモ争フベカラザルコトデアラウト思フ、ソコデソレニ要スル財源ニ付テドウカト云フコトヲ能ク問フノデアリマスガ、是ハ大藏省トシテハ、今日ハ見テ居ラナイ、又今カラ見テサウシテ一億ナリ一億七千万圓ナリヲ保留シテ置クト云フコトハ、是ハ財政ノ實況カ

ラモ出來ナイコトデアリマスカラ、ソレハ大藏省トシテハ保留シテハナイ、併ナガラ海軍ノ國防上ノ見地カラ是カラ三四年先キニナルト云フコトニナリマスナラバ、而シテ是ガ我が帝國ノ國防上ニ絶對ニ必要ト云フナラバ、是ハ考ヘネバナラヌコトデアル、ソレハ而シテ其時ニ昭和九年カ十年ニナッテ、其時ニナッテ何トカ考ヘヤウト云フノガ、私ハ大藏當局ノ御意見デアラウト思ヒマス、而シテ又海軍省トシテモソレハ已ムヲ得ナイカラ、其程度デ満足シヤウ、其時ニナッテラバ是非考慮シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナコトガ政府部内ノ御相談ノコトデヤナイカト、マア推察スルノデ、脇カラ推察スル、是ハ今日ニ始マッタコトデナク、海軍ノ費用ノ財源ニ付テハ、從來矢張り幾多ノ沿革ガアリマシテ、齋藤實君ガ海軍大臣デアッタ時ニモ大藏省ト衝突シタコトモアッタシ、加藤友三郎君ガ海軍大臣デアッタ時ニモ、サウ云フコトガアリマシタ、此點ハ私ハアリ得ルコトト思ヒマス、併シ今後ニ於キマシテ是ハ此内閣ガ其時ニ責任ヲ負フカ、他ノモノガ負フカ分リマセヌケレドモ、此事ニ付テハ考慮シテ置カナケレバナラヌコトハ、考慮セネバ相成ラヌト思フ、ソレ故ニ海軍大臣トシテハ今サウ委シ

イコトモ御話ニナルコトモ出來マスマイ、又内部ノ、内閣内ノ内部ノコトヲ、サウ外ニ出スコトハ出來マスマイ、サウ云フコトヲ承ラウトハ思ヒマセヌガ、歸スル所今日ノ豫算ニ計上シタ所ノアノ費額ヲ以テ將來マデヲ満足シテ居ルモノデナイ、何レ四五年前先キニナレバ之ニ對シテ適當ナル更ニ補充計畫ヲ立テナケレバト云フコトガアルノデアリマスカ、ナイノデアリマスカ、ソレハモウサウ云フコトハ要ラナイ、サウ云フコトハ全然考ヘテ居ラナイ、今日ノ現狀ヲ以テ先ヅ宜シイストルカ、尤モ倫敦條約ノ期限ガ千九百三十五年デアリマスカラ、其時ノ會議ノ結果ニ依ッテ又ドウナルカ、是分ラナイ、其事ヲ除イテハ、今日ノ所デ宜イ、斯ウ云フノデアリマセウカ、之モ私共ハ海軍大臣ナリ大藏大臣ノ言葉尻ヲ捉ヘテサウシテ御責メシヤウトハ思ハナイ、サウ云フコトガ事實必要デアレバ、本年度ノ豫算ノ審査ニ於キマシテ、來年以降ノ豫算ノ審査ニ付キマシテモ、是ハ考慮シテ置カナケレバナラス、今日財政計畫ヲ考ヘル上ニ、サウ云フコトヲ見ズシテ、唯ヤッタト云フコトデアリマスレバ、我々豫算審査ノ、豫算ヤ財政計畫審査ノ任ニ當テ居ルモノノ責任上ニモ關シマスコトデアリマスカラシ

テ、此點ダケヲ御伺ヒシテ、海軍大臣ガ御話ヲシテ差支ヘヌダケハ一ツ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(井上準之助君) 海軍大臣ノ御答辯ノ前ニ私チヨット申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、只今水野氏カラ御話ノアリマシタノハ大體ニ於テ間違ヒモアリマセヌガ、チヨット申上ゲテ置キタイノハ維持費、海軍デ維持費ガ要ルガ、ソレハ今日ノ財政計畫ノ上ニハ財源ハ保留シテゴザイマセヌ、但シ財政ニ餘裕ガアッタナラバ、海軍ニソレヲ出來ルダケハ提供シヤウ、又海軍モ比較的大キナ豫算ガアルカラ、ソレカラ繰合シテ維持費ハ出シテ行キマス、ソレデ今日の確的ニ是ダケノ財源ヲ留保シテ置ク必要ハアリマセヌト思ヒマス、又過去ニ於テモ左様ナ意味ニ於テ維持費ハズツト調達シテ來テ居リマシテ、艦艇製造費ガアッテモ維持費ノ豫算ガナクテ、艦ガ出來タ、ソナラ財政上餘裕ガアレバ大藏省カラ是ダケ財源ヲ提供シヤウ、海軍デ是ダケ繰合シテ來ルト云フノガ過去ノ事情デアリマスカラ、ソレデ宜シイト思ヒマス云フ意味ヲ御答ヘ致シマシテ、根本ニ於テ決シテ間違ヒナイヤウデゴザイマスケレドモ、海軍大臣ハ私ト申合シテ居ル意味ハサウ云フ意味デスカラ

ドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○國務大臣(男爵安保清種君)

只今ノ水野

サンノ御質問ニ御答ヘ致シマス、第一ニ倫敦條約ノ拘束カラ來ル或兵種ノ若干ノ不足ト云フモノヲ補フ爲ノモノト、ソレカラ當リ前ノト兩方アッテ、此度ノ海軍兵力整備計畫ガ出來上ツタモノデアラウ、斯ウ云フコトデアリマシタガ御説ノ通りデアリマス、併ナガラ毎度申上ゲマシヤウニ、丁度此昭和六年度ニ於テ從來御協賛ヲ經テ居テ成立イタシテ居リマシタ海軍ノ艦艇補充計畫ト云フモノガ丁度終リヲ告ケタノデ、ドウシテモ六年度ナリ或ハ出來レバ五年度位カラ更ニ一ツノ海軍計畫ト云フモノガナケレバナラナイ時期デアリマシタノト、一方又丁度此昭和六年度ニ於テ海軍デ豫テ計畫シテ御協賛ヲ得テ居リマシタ十七隊ノ航空隊ト云フモノ充實ト云フモノガ丁度又此六年度ヲ以テ完成ヲ致シマスルノデ、從テ今日ノ時勢ニ處シテ海軍力ヲ保持シテ行クト云フコトト、ソレカラ航空力ト云フモノモ當然此進歩ニ從ッテ持ッテ行カネバナラヌト云フ或ル計畫ヲ樹行ナケレバナラヌト云フ時期ニ、恰モ倫敦會議ガアリマシテ、是ガ御承知ノ通りニ成立ヲ致シマシタノデアリマスルカラ、一ツノ計畫ヲソコニ樹テマスルノ

ニ、丁度其倫敦條約カラ來ル種々ノ影響ト云フモノヲソコニ考慮シテ、是リナイ所ハ補ヒヲツケルト云フヤウナ色ミナコトヲ考慮シテ、是ナラバ大體國防上必要トスル兵力ノ根幹ハ備ヘルコトガ出來ル、而シテ國防上不安ナキヲ期シ得ルト云フ意味ノロトニ色ミ研究シタ結果、計畫ヲ致シマシタノガ、此度ノ計畫ト云フ次第デアリマス、從テ第三番目ニ御問ヒニナリマシタ所謂第二次計畫ト云フヤウナモノト關聯ヲ致シマスルガ、ソレハ後ニ御話ヲ申上ゲルコトニ致シマシテ、二番目ノ維持費ノ方ノ問題デ、是ハ今大藏大臣カラモテヨット御答ガゴザイマシタガ、海軍ト致シマシテハ新シク艦ガ出來レバソレノ維持費ト云フモノガ、當然取レナケレバナラヌ、取ルコトガ是非トモ必要ト致スノデアリマス、併ナガラ海軍ノ維持費ト申シマスルノハ即チ一ツノ艦ニ付テ此艦ニ一年ニ五十萬圓維持費ガ要ルト云フコトニナリマシテ、其五十萬圓ガ五十萬圓取レバ結構デアリマスガ、種種ノ事情デ三十萬圓トカ色ミ減リマシテ、併シ或ル維持費ト云フモノガ取レマシレバ、ソレハ其乗員ノ俸給デアリマスルトカ、糧食

デアリマスルトカ云フモノノ、詰リ海軍ト云フモノガ其船ニ乗テソレヲ活動セシメル爲ニ必要ナモノノ費用ニソレヲ直グ割當テシマッテ、ソレカラ後ハ一ツノ經常費トシテ黙ッテ居テ要求通り貰ヘルト云フ斯ウ云フ意味ニナリマス、從テソレガ海軍ノ勢力ヲ、此度ノ例ヘバ補助艦艇ニ致シマスレバ三十六萬七千噸ト云フモノヲ維持スルト云フコトニ付キマシテ、或ル大キナ費額ト云フモノガ、ソコニ從來取リ來ツタモノガアリマス譯デアリマシテ、之ニ毎年新シク出來ル船ガアリマスルカラ、ソレガ直グ維持費ヲ取ラナケレバナラヌデアリマスガ、從來新規要求トシテヤリ來ッテ居リマスル關係デ、從來特ニズット前カラ財源ト云フモノハ用意シテナカッタノデアリマスカラ、其都度、其都度潛水艦ガ今年ハ二隻出來タカラ二隻分貰ヒタイ、併シ本年ハモウ半年ホカナイカラ來年ソレヲヤル、今年ハモウヤラヌ、サウスルト今年ハヤラヌケレバ其潛水艦ハ動かヌカト云フト、サウデハアリマセヌノデ、從來持ッテ居リマスル數千萬圓ト云フ維持費ノ中カラソコニ一年ノ間ニ是ガ二十萬圓要ルカラ其二十萬圓ト云フモノヲ繰合セテ付ケマシテ、其新シク出來タ船ハ十分活動出來ル、申ス迄モナク色ミ古イ船ナ

ドハ修理等ヲ致ス必要モアリ、色ミノ關係上、ソレヲ軍港ニ繋ギマシテ、乗員モ若干減ラシタリ致シマシテ、機械ノ手入レ其他ヲ致シマス、サウ云フ場合ニハ其船ト云フモノハ維持費ハ一年ノ内ニ要リマセヌ場合モアリマス、サウ云フヤウナモノヲ繰合セマシテ新シイ船ヲ以テソレノ活動サセルト云フ意味ニナッテ居ル次第デアリマシテ、此度ノ計畫ノ中ニ付キマシテモ、今現ニ造リツツアリマスル船、又此度ノ計畫デ造リマスル船ノ維持費ト云フモノモ取ッテ置クト云フコトガ勿論必要デアアルノデアリマスケレドモ、或ル決ツタ財源ノ中カラ方法ヲ立テルト云フ意味ニナリマシタニ付テハ、毎度申上ゲマシヤウデアリマスケレドモ、航空隊ト云フモノハ、今ノ船ノ方トハ稍、違ヒマシテ殆ド消耗品ノヤウニ其航空機自身ガナルデアリマス、船ノ方ハ一ツ費用ガ出來テ造リマスレバ、ソレノ維持費ト云フモノハ繰合セガ付キマス、乗員ヲ持ッテ來ルトカ云フヤウナ方法ヲ付ケテ是ガ活動モ出來マスケレドモ、航空隊ニナリマスルト、航空機自體ガ消耗品ト云フヤウナ意味ニナリマスカラ、航空隊ノ維持費ト云フモノガ伴ヒマセヌト云フト、設備費ヲ今年取リマシテ、或ル一隊ナリ二隊ナリ造リマシテモ、

第四部第十五類 地租法案特別委員會議事速記録第二號 昭和六年三月十二日

殆下其活動力ガナイト云フヤウナ關係ニナリマス、併シ是モ豫メ航空隊維持費ト云テ今マデ現ニ取ッテ置イタ譯デハナイノデアリマスケレドモ、此度航空隊維持費ト云フモノガ絶對必要ナモノデアルト云フ意味カラ致シマシテ、從來十七隊ノ航空隊維持費ガ約二千四百萬圓一年ニ要ルノデアリマスガ、ソレハ無論大體取ッデアリマス、其以外ニ此度ノ計畫ノ十四隊ノ航空隊ニ付キマシテハ段々出來テ參リマスカラ、費用ハ最初ノ中ハ少イノデアリマスガ、是ガ昭和十三年度ヲ以テ全部完成イタシマスレバ矢張り二千五百萬圓ノ維持費ト云フモノガ毎年要ルノデアリマス、ソレガズト出來上リマスニ從ヒマシテ、ソレノ維持費ヲ取ッテ行ケルヤウニ、此度ハ財源デハナシニ豫算ノ中ニソレヲ繰入レマシテ、此度ノ御協賛ヲ願フテ居リマスル中ニソレガ含ンデ居リマスカラ、是非共必要ナ所ニハ、此度ノ保留財源ノ中カラ今ノヤウナ維持費ト云フモノモ支出イタシマス、サウ云フ關係デ其上更ニ船ノ維持費ト云フコトデハ是ハ誠ニ財源モ取ッテ置キタイノデアリマスケレドモ、ソコ迄ハ餘リニ嵩モ嵩ミマス譯デアリマスカラ、從來新規要求ト同ジ方法デヤッテ居リマシタコトデ、ヤッテモ差支

ナカラウ、サウシテ御承知ノ從來四十萬七千噸アリマスル中カラ此度ノ協約デ三十六萬七千噸ニ減リマシテ、約ソコニ五萬噸ト云フ船ガ減リマス、併シ其減ルノモ直ニ減ルノデアリマセスカラ、維持費ノ浮クモ直チニ浮イテ來マセスケレドモ、漸次ニ持つ兵力量ガ此度ノ倫敦協約デ減リマシタノデアリマスカラ、除籍ニナリマシタ船ノ維持費ト云フモノヲ新ラシイ船ノ方ヘ轉用シ、ソコニ相當考慮ヲ拂ヒ得ル餘地ガアルノデアリマスカラ、旁、維持費ノ方ハ只今大藏大臣カラ説明ガアリマシタヤウナ程度ヲ以テヤッテモ決シテ海軍力ノ活動ノ上ニ大ナル支障ヲ來スモノデハナイ、所謂國防上カラ考慮イタシマシテ左程支障ヲ來スモノデハナイ、斯ウ云フ意味カラ海軍ノ方トシテモ維持費ト云フモノハ財源ガ此度ナクテモ先ヅ已ムヲ得ヌ、其都度要求シテ全額ハ取レヌニシテモ少シ宛デモ取ッテ補ッテ行キタイ、斯ウ云フ意味ニ致シマシタ次第デアリマス、ソレカラ第三番目ニ所謂此度ノ計畫以外ニ次ニ來ル計畫ガドウシテモナケレバナルマイ、是ハモウ御説ノ通りデゴザイマス、併ナガラ是ガ毎度申シマスカラウニ此度根幹ト云フモノヲ備ヘマシタノハ、即チ條約上デ許サレテ居リマスル巡洋艦ト云フ

モノハ殆下全部造リマシテ、八千五百噸ノ船ヲ四隻造ル、潜水艦ノ方モ一万二千噸ト云フモノヲ造ルコトヲ許サレテ居リマスルソレヲ殆下全部今度使ヒマシタ、驅逐艦ト云フモノニ付キマシテ、噸數カラ申上ゲマスレバ、之ヲ隻數ニ直シテ十八隻造ッテモ宜シイト云フモノヲ十二隻ニ止メテ、六隻ダケハ是ハ必要ガアレバ急造モシ得ルト云フ意味カラ後ニ殘シマシタト云フヤウナ譯デ、ソレカラ又機械水雷ヲ敷設イタシマスルト云フ船、是ハ制限外ノ船デアリマスケレドモ、倫敦條約ニ於テ特ニ日本ノ爲メ日本デ取りマシタ權利デアリマスルガ、是ガ五千噸ノヲ二艘造ッテ宜シイノデアリマスル、ソレヲ此度ハ一艘拵ヘマシテ、サウシテ他ノ一艘ハ相當延バシテモ宜シカラウ、ト申シマスルノハ、今現ニ八重山ト云フモノヲ造リツツアルノデアリマスカラ、從來ノ計畫デ……從ッテ今造リツツアルモノガ一兩年ノ中ニ竣工シ、更ニ此度ノ計畫ノガ出來上ルト云フコトニナリマスカラ、他ノ一隻ハ後ニ殘シテモ宜カラウ、サウ云フヤウナ此度ノ骨幹トシテ取りマシタ以外ノモノハ今申上ゲマシタヤウナモノデ、其外ニ例ヘバ航空隊トカ或ハ制限外ノ船トカ申シマスレバ、ソレハ相當アリマスケレドモ、

其次ノ計畫ヲ此度ノニ加ヘナケレバ國防ガ不安ナリト斯ウ云フ意味ハナイノデアリマシテ、國防上是非共備ヘナケレバナラスト云フ骨組ト云フモノガ此度備ハリマシテ、後カラ附加ヘテモ差支ナイ、或ハ外國ノ狀況ヲモ、今モ水野サンガ御示シニナリマシタヤウナ意味ニ於テ、後カラ能ク考慮シテ拵ヘテモ宜シイ、又外國ノ方デ全部權利ヲ行使シナイカモ知レナイ、全部行使シナイ場合ニ自分ノ方ダケ權利ガアルカラ全部行使スルノ必要ガアルカドウカト云フコトハ、是ハ又モウ少シ後ニ考慮シテ見テモ差支ナイト云フ事柄ノモノハ後ニ殘ス、斯ウ云フ意味ニナッデアリマスル譯デアリマスルカラ、即チ此度後ニ殘シマシタモノ、又條約ニ於テ千九百三十六年末ニ於テ、竣工サンテハイカスケレドモ、建造ニ著手シテモ宜シイト云フモノハ是モ外國ノ狀況等ニ依テ、著手スル權利ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナモノニ付テノ計畫ハモウ少シ狀況ヲ見テ計畫ヲ立テル、斯ウ云フ意味ニナリマシタノデ、從ッテ是ガ十年ニ著手イタシマスルカ九年ニ著手イタシマスルカ、ソレハ分ラナイノデアリマスガ、其處ニ丁度御話ノ……兎モ角モ必要ガアル以上ハ、何トカ其處ニ財源等モ考慮ヲ、假

リニセヌニシテモ一ツ方法ガナケレバナラヌデハナイカト云フヤウナ意味デアリマシタ、財源ト云フモノハ用意シテアリマセヌケレドモ、兎ニ角昭和十一年度以後ニハ……今ノ此度ノ計畫ガ十一年度ニ終ル、サウシテ十二年度カラハ、海軍力ヲ保持スル必要ト云フ意味カラハ、六千万圓ト云フモノヲ毎年保留財源ニ保留シテアルト、斯ウ云フ意味

デ只今申上ゲマシタ、航空隊ノ維持費ノ二千五百万圓ト云フモノハ、マダ其以外ニ取テアルト云フ意味ニナル譯デアリマス、ソコデ一ツノ其處ニ財源ト云フモノハ、詰リ昭和十二年度以後ニハアリマス、唯計畫トシテ九年ナリ十年ナリカラスウ被セテ計畫ヲシナケレバナラヌハ、是ハモウ海軍ノ計畫ノ今迄ノヤリ方デアリマシテ當然デアリマスガ、被セルニ付キマシテハ、其處ニ相當ノ財源ガ要ルノデアリマスケレドモ、ソレハ用意シテナイト、サウ云フ意味ニナルノデアリマスガ、是ハ計畫ヲ立テマス際ニ是非トモ是ダケノ計畫ヲ我が帝國トシテ必要ナリト云フコトニ考ヲ置イテ或計畫ヲ立テマシテ、ソレガ六年ナリ何年ナリ、長年ニ互テ一ツノ海軍計畫ニナル次第デアリマスカラシテ、サウ云フ際ニハ政府當局ニ於テモ難ヲ排シテ其經費ト云フモノ

ハ捻出シ得ラレルモノト云フ意味カラ、保留財源ト云フモノハ此度ナイト云フコトモ考ヘテ、唯第二次ト云フ名前ハ兎ニ角、次ニ或ル計畫ヲ昭和十一年度以前ニハドウシテモヤラナケレバナラヌト云フ必要ハ十分認メテ居リマス次第デアリマス、大體御尋ノ箇所ハソレダケデアアルカト思ヒマス

○水野鍊太郎君 能ク分リマシタ
○湯地幸平君 能ク分リマシタ
タコトデスケレドモ、念ノ爲ニ御尋シテ置キマス、若シ倫敦條約ガナイモノト假定イタシマシタナラバ、五億八百万圓ノ金ハ全部海軍ヲ要ルノデスカ、又ハアレ以上要ルモノデアリマスカ之ヲ御尋シマス

○國務大臣(男爵安保清種君) 湯地サンニ御答ヲ申上ゲマスガ、是ハチヨット假定デナカナカムヅカシイノデアリマスガ、倫敦條約ガナクテ、主力艦ヲ矢張り此六年度カラ作ルト云フコトニナリマスルト云フト、是ハ大體五年度ニ於テ亞米利加ガ矢張り二十

三隻ト云フ八吋ノ巡洋艦ヲ持ツト云フコトニ計畫ハナッテ居リマシタ譯デアリマシタ、大體ニ於テサウ云フ點モ考慮シ、ソレカラ主力艦モ矢張り毎年一艘宛ハ作ル、大體其時ニハ矢張り今日ノ華盛頓條約ト同ジニ三万五千噸、十六吋ノ主力艦ト云フ立前デア

リマスカラ、約八千五百万圓一艘ハ掛カルト云フヤウナ意味モアリマシタ、ソコデドウシテモ是ハ保留財源ノ五億八百万圓ト云フヤウナデハ足りマセヌ譯デアリマス、ソレデ其以外ニ航空隊ト云フモノモヤラナケレバナリマセヌカラ……

○湯地幸平君 五億八百万圓デハ足ライト云フコトサヘ分レバソレデ宜イノデアリマス、ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ倫敦條約ニ日本ガ加入サレル場合ニ、海軍ニ於テモ亦内閣ノ方ニ於テモ主張セラレタ三大原則……アレガアノ儘通レバ今度ノ剩餘金ハドノ位デスカ、アノ儘通レタト假定シテ、ドレ位殘ルノデアリマスカ

○國務大臣(男爵安保清種君) 御答ヘ申上ゲマスガ、チヨット立前ノ置キ方デ餘程ソレハムヅカシクナリマス、ト申シマスノハ潜水艦ヲ例ヘバ七万八千噸ト云フノガ所謂三大主張ノ一ツデアリマシタ、是ハ御承知ノ如クニ非常ニ金ガ高クテ、一噸四千何百圓ト掛カリマス、ソレガ最初ノ中ハマダ新ラシイ船ガ多イノデアリマスカラ、艦齡ガ參ッテ居リマセヌカラ何デアリマスガ、是ハズツト先ニナリマスト云フト、艦齡ノ來タモノハ……矢張り此度ハ十三年ト決マリマシタガ、十三年ニナリマス前ニ新ラシイ船ヲ起

工シテ、丁度七万八千噸常ニ保持スルヤウニ、十三年以内ノ船ニ常ニ七万八千噸持ツト云フコトニナリマスト、ソレハナカク費用ガ掛カリマス譯デアリマス、併ナガラココ昭和十一年マデノ計畫ニ於テサウシテ積リマスレバ、此度ノ計畫ヨリカモ若干金ガ安ク參リマス

○湯地幸平君 ソレハドノ位ノ御見込デスカ、無論多少ノ違ヒハアルデセウガ大體ノ御見込デス、其三大原則ガ通ツトシテ是ダケノ金ガアレバ宜イト云フ大體ノ御見込デス、内容ハ色ミアリマセウガ、私ハ其御見込ノ金額ヲ承リタイ

○國務大臣(男爵安保清種君) 左様デスネ、チヨット金額ハ數字ノ立テ様ニモ依リマスガ、餘リニ違ヒガナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレガ少シ後マデ互リマスト、三大主張ヲヤリマシタ方ガ幾ラカ高クナルト云フコトガ出テ來マスケレドモ、此年限ヲ十一年ト切りマスケレバ、十一年マデニ於テハ倫敦ノ此度ノ協約ヨリカハ若干安ク行ク、幾ラト云フコトハチヨット色々立テ方ニモ依リマスカラ……

○湯地幸平君 昭和十一年度マデ宜シイノデスガ、ドウモ餘リ違ヒガナイト云フコトハ私ハ了解ニ苦シム、アノ條約ガ潜水艦

第四部第十五類 地租法案特別委員會議事速記第二號 昭和六年三月十二日

等ヲ減ラサレテ今海軍大臣ノ言ハレル通り
兵力量ニ幾ラカ不足ヲ生ズル、其補充計畫
ニ幾ラカ金ガ増シテ來ルト云フコトデスカ
ラ、アノ三大原則ガ其儘通レバ、金ガ餘程
殘ル筈ニ計算ハシナケレバ合ハナイ譯デア
ル、是ハ無論永遠ノ話デハアリマセヌガ、
少クモ昭和十一年マデノ間ノ考デ計算ヲ
取テ見レバ、アノ條約ハ不十分デアルカ
ラ、補充計畫ヲシナケレバナラヌ、此補充
計畫ニ是ダケノ金ガ要ルト政府モ言テ居
リマスカラ、三大原則ガ通レバ其半而ニ金
ガ殘ラナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ
コトニナリマス、其御見込ハ海軍デ大體ナ
クテハナラヌト思フ

○國務大臣(男爵安保清種君) 勘定ヲシダ

モノハアリマスケレドモ……例ヘバ申上テ
マスト云フト、潜水艦ト申シマスルノハ、
艦齡デ申シマスト云フト、此度ノ艦齡内ノ
モノガ……艦齡ヲ越エタモノヲ段々補充シ
テ行クト云フコトナシニ置キマスト云フ
ト、七万八千噸ト云フモノガ五万二千七百
噸ニ落チルト、サウスルト艦齡内ノモノヲ
保持スルト云フノニハ、丁度今三大主張デ
申シマシタ三分ノ一ノ潜水艦ハ補充シテ行
カナクチャナラヌト云フ意味ニナリマス、
ソレカラ全體ノ噸數ハ變ラナイノデ、七割

ヲ取ルト云フコトニナッテ居リマスカラ、三
十六万七千噸ト云フ噸數ハ變リハナイノデ
アリマス、從テ艦齡ノ比較的若イモノガア
ルカラ、之ヲ換ヘテ行クノガ少シ遅クナッテ
モ宜イト云フ所ニ違ヒガアリマスケケデ
アッテ、潜水艦ガ殖エマスノト、八吋ノ巡洋
艦ガ殖エマスニ付テ、驅逐艦ト六吋ノ巡洋
艦カラ噸數ヲ補ヒマスケレドモ、總テノ噸
數ト云フモノハ三十六万七千噸ト云フモノ
ヨリ少イノデヤナイノデアリマス、三十六
万七千噸ト云フモノヲ矢張りズツト保持シ
テ、其中ニ艦齡ノ來ルモノハ皆補充シテ行
カナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ニナリマ
スカラ、非常ニソコニ差ガアル意味ニハナ
リマセヌ

○湯地幸平君 ドノ位ノ金額ニナリマスカ

○國務大臣(男爵安保清種君) チョット今

茲ニ數字ヲ持ッテ居リマセヌ、計算シタモノ
ガゴザイマスカラ後デ……

○湯地幸平君 ソレハ後デ宜シウゴザイマ

ス、ソレカラモウ一ツ伺ッテ置キタイノデス
ガ、先刻外務大臣ノ是ハ三國協定デモ宜シ
イト云フヤウナ御答デアリマシタガ、假リ
ニ新聞ニ載ッテ居ルアノ協定ガ成立シタト
シマスト、アノ中デハ佛蘭西アタリハ大分
殖エル、成立シタトスレバ、其影響ガ日本

ノ海軍ニ來マシテ、海軍ノ計畫ヲ變ヘ經費
ヲ更ニ増額ヲ要求サレルト云フヤウナ事柄
ハ無イモノト見テ宜シウゴザイマスカ、ア
ノ計畫ガアノ通り行クナラバ……

○國務大臣(男爵安保清種君) 御答ヘ申上

ゲマスルガ、差當リノ影響ト申シマスルモ
ノハ、所謂二十一條デアリマシタカ、佛蘭
西ノ潜水艦ガ多クナレバ、英吉利デハ驅逐
艦ノ持分ヲ増スト云フコトデアリマス、英

吉利ガ驅逐艦ノ持分ヲ増シマスレバ、亞米

利加モ直チニ増シマスカドウカ知レマセヌ
ガ、權利ダケハ取ッテ置クト云フ意味ニナリ
マス、從ッテ其事ニ付テハ日米ノ間ニモ話合
ヲスルト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、
ズツト廻リ廻ッテ今持ッテ居リマスル權利ヨ
リカ、モウ少シ高イ所ニ、例ヘバ驅逐艦ノ
ヤウナモノヲ持タナケレバナラヌト云フヤ
ウナコトニモナッテ來ルカモ知レマセヌガ、
併シソレハマダ本當ニ潜水艦ト云フモノノ
佛蘭西ノ持分ガ決リマセヌシ、英吉利ノ方
モ少クモ來年ノ軍縮會議マデニハ、今申上
ゲマシタ「エスカレーター」條約ト云フモノ
ヲ行使スル意思ハナイト云フコトニナッテ
居リマスカラ、差當リハ別ニドウト云フコ
トハアリマセヌケレドモ、段々廻ッテ來マ
スト、サウ云フ結果ニナッテ參リマス

○湯地幸平君 アノ新聞ニ發表シテアル通
リノコトガ三國ニ協定ガ出來クナラバ、結
局日本モ計畫ヲ變ヘ、幾ラカ費用モ増額シ
ナケレバナラヌト云フコトニナル譯デス
ネ、ソコニナルカナラヌカ今日ハ分リマセ
ヌガ、アノ通りノ條約ヲ亞米利加ガ承知ス
ルカ分リマセヌガ、假ニアノ通りニナッタ
スレバ、コチラノ海軍ノ方ノ國防計畫ニ影
響スル譯デスネ

○國務大臣(男爵安保清種君) ナッタト致

シマシテ、英吉利ガ、ナッタニ付テ、ソレデ
ハ不安ダカラ、自分ノ方ノ、例ヘバ驅逐艦
ノ兵力ヲ増スト云フコトニ決定イタシマシ
タ後ニハ、サウナッテ來ル、併シ佛蘭西ガ増
シタカラ必ズ英吉利ガ増スカト云フコトハ
決ッテ居リマセヌノデ、從ッテ假ニアノ通り
條約ガ成立ッテモ、英吉利ノ方デ、先ヅ當分
ハ佛蘭西ガ増スト云フコトニシテ、佛蘭西
ハ潜水艦ヲ増シタケレドモ、自分ノ方ノ驅
逐艦ハ倫敦條約ノアノ數量デ宜シイト我慢
シマシタナラ、別ニソレガ亞米利加及日本
ニ影響スルト云フコトハナイノデアリマ
ス、併シ是ハ御話ノ通り、英吉利ガ増スト
致シマスレバ、矢張り影響ハ勿論參リマス

○湯地幸平君 佛蘭西ガ幾ラ増シテモ、日

本ノ方ハチットモコチラノ計畫ト大シテ違

ヒハナイ、英吉利ガ増セバ變ヘル必要ガアル、斯ウ云フコトデスネ

○國務大臣(男爵安保清種君) 條約ノ上ニサウナッテ居リマスカラ……

○湯地幸平君 分リマシタ

○大橋新太郎君 私ハ海軍大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、只今水野サンノ御質問ノヤウナ御趣意デ國防充實ヲシナケレバナラヌト云フ御質問ノ御答辯ハ、屢、本會議デモ承リマシタ、私ハ別ノ趣意デ一ツ海軍大臣ニ御尋ネシタイト思フ、ソレハ、是ハ減

稅委員會デアリマス、我ミハ日本ノ現在ノ稅率ハ日本ノ國力ニ適合シナイ過大ノ稅制ダト斯ウ思フ、其國力ニ適合シナイ稅制ヲ施行セムニハ、國力ハ遂ニ衰ヘル、軍艦モ大事デアルガ、國力ガ衰ヘテ之ヲ用フルコトガ出來ナイヤウニナリハシナイカト云フコトヲ心配シマス、サウ云フ議論ハ餘リ貴族院ニハ無クテ、國防充實デ海軍大臣ガ弱イカラシテ減稅ガ出來ルナンカト云フ御非難モ屢起ルヤウデアリマスガ、其結果今度國論カラ言ヘバ、今ノ水野サンノヤウナ御質問ガ非常ニ盛デ現海軍大臣ハ腰ガ御弱カッタカ知レマセヌガ、其爲我ミハ倫敦條約ガ認メラレマシタカラシテ、茲ニ減稅案ヲ見ルコトニナッタ、若シ海軍大臣ガ強硬デ

テ倫敦條約デイケナイト仰ンヤレバ、今日茲ニ減稅案……甚ダ微弱ノ減稅案デ甚ダ不

満足千萬デアリマスガ、微弱ナリト雖モ減稅案ヲ見ルコトガ出來タノハ、全ク海軍大

臣ガ能ク國力ノコトヲ御考察ニナリマシテ、大藏省トノ御交渉ガ出來タト云フコトヲ、自分ハ極メテ喜ンデ感謝ノ意ヲ表スルノデアリマス、唯自分ガ實際關係シテ居リマス事業ノ關係カラ、海軍大臣ニ伺ヒテ見タイノハ、軍艦モ飛行機モ、潜水艇ハ勿論ノコト、ソレカラ又軍事上ノ一般ノ貨物ノ輸送、郵船會社デモ商船會社ノ船デモ、又陸上ノ自動車デモ、總テ石油ガナケレバ、軍艦モ動カナイ、其石油ハ日本ノ產額ハ亞米利加ノ一日分出ナイ、御承知ノ通り亞米利加ノ石油ノ產額、十五時間出ル石油ノ產額ガ、日本ノ一年分ノ石油ノ產額デアアル、ソレデ

又亞米利加ト日本ノ國力ハドノ位違フカ、マサカ石油程ノ割合デヤナイカモ知シマセヌガ、軍艦ダケハ少クトモ亞米利加ノ七割ヲ持タナケレバ、亞米利加ト戰爭ガ出來ヌト云フ國防計畫ノ上カラ、ソレヲ御譲リニナッタニ付テハ、非常ニ非難ノ多イ世ノ中デアリマスガ、肝腎ノ軍艦ヲ動カシ、飛行機ヲ動かス石油ガ、亞米利加ノ三百六十五分

ノ一無クテ、日本ノ一年ノ產額ハ亞米利加ノ十五時間ノ產額シカナイト云フヤウナコトデ、幾ラ軍艦ガアッテモ飛行機ガアッテモ、之ヲ動かスコトト云フモノハ出來ルモノデ

ヤナイ、又現ニ私ハ日本石油會社ノ重役モシテ居リマス、海軍省モ御心配ニナッテ、南

滿鐵道ノ石炭ノ中ノ岩カラ油ヲ搾ルト云フコトニ付テ、海軍ガ御盡力下サッテ居ルト云フコトモ存ジテ居リマス、ソレ等モ成程石炭カラ油ハ取レヌコトハアリマセヌガ、極メテ不經濟ナモノデアアル、逆モ天然ノ油ヲ使フヤウナ譯ニハ參リマセヌ、又露領ノ樺太デ、契約デ以テ少シ油ヲ掘リマスガ、是ハ僅カナモノデアアル、ソレナラバ日本ガ茲ニ假想ノ亞米利加ト戰端ヲ開ク場合ニ、日本ガ亞米利加ト戰爭スル爲ニ、英國ガ英米ノ關係デ以テ、日本ニ石油ヲ供給シテ日米戰爭ノ用ニ供シマセウカ、是ハモウ常識ヲ以テモ、英國ハ日米戰爭ノ場合ニ日本ニ石油ヲ供給スルナドト云フコトハ危ナイ、單

リ軍艦トカ飛行機トカ云フモノノミアレバ戰ガ出來ルト云フヤウニ、私ハドウモ思ハレマセヌ、國力ガ必要デアリ、同時ニ又國力ノコトハ假ニ亞米利加ノ日本ハ何分ノ一カ、亞米利加ノ七割、亞米利加ノ七割ヨリ日本ハ國力ハアラウトハ思ハレマセヌ、ソ

シナ議論ハ先ツ後廻ハシニシマシテ、石油ハ亞米利加ノ三百六十五分ノ一無イノデア

リマス、ソレデドウシテ飛行機ヲ動カシ、軍艦ヲ動カシテ、戰爭ガ出來マスデセウカ、此點ニ付テ國防論者カラ餘リサウ云フ御質

問ガナイノデアリマスルカラ、自分ガ事實石油會社ニ關係シテ、一朝事有ッタナラバ、是ハドウシテモ此國防ヲドウスルカト云フコトニ付テ憂慮ニ堪ヘマセヌカラ、茲デ海軍大臣ニ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(男爵安保清種君) 今ノ大橋サンノ御尋ニ御答申上ゲマス、マア減稅ノ方ノ段々ノ御話ハ御質問デハナイヤウデスカラ……軍艦ヤ飛行機ガアッテモ、油ガナケレバ動カナイデヤナイカト云フ、誠ニ御尤ナ御尋デアリマス、是ハ海軍ト致シマシテモ、年來最モ苦慮イタシテ注意ヲ拂ッテ居ル所ノ問題デアリマス、貴族院ノ本會議デアリマシタカ、森田サンカラノ御尋モアリマシテ、チヨット御答ヘ申上ゲマシタヤウナ次第デ、此油ト云フコトニ付キマシテハ、海軍モ、ソレ等ノ關係者トモ交渉ヲ致シ、矢張り海外ニアッテ日本人ノ手ニ依ッテ、其油田ノ取り得ル所ハ之ヲ獎勵シテ、成ルベク日本人ノ手ニサウ云フヤウナ油田ヲ買得ラレル方法モ取リマスシ、又貯藏ヲスルト云

フコトハ誠ニ不經濟極マルノデアリマスケ
 レドモ、丁度御話ノ如ク、日本ニ極メテ缺
 乏シテ居ルト云フ日本ノ國情カラ致シマシ
 テ、相當必要ト云フ程度ノモノハソコニ貯
 藏ヲシテ置ク、實ヲ寢カシテアルヤウデア
 リマスガ、是ハ國防上是非トモ必要トスル
 方法デアリマス、ソレカラ所謂樺太ノ油ニ
 付キマシテ極メテ少量ト仰シヤイマスル
 ガ、マアア、云フ程度ニ年々殖エテ参リマ
 シテ、本年度海軍デ買ヒマスルモノハ、今ノ
 滿鐵ノ「オイル・シエル」ナドモ、海軍ガ大分
 勸メモ致シマシテ、滿鐵モ奮發シテアレダ
 ケノコトヲヤツテ少クトモ數万噸ト云フモ
 ノガ年々油トナツテ出テ参リマスノハ、是ハ
 日本ノ國デ海ヲ渡テ海外カラ仰ガズニ出來
 ル、近い若干ノ海モアリマスケレドモ……
 其後ニ於キマシテ、今年ハ……六年度ニ於
 テ買ヒマス油ノ量ト云フモノハ從來トハ違
 ヒマシテ、亞米利加「ボルネオ」等デ買ヒマス
 ルモノヨリハ遙ニ「オイル・シエル」ト樺太
 ノ油ノ分量ガ多イノデアル、是ガ段々ト進
 ミマスレバ、大橋サンノ御心配ノ點モ餘程
 緩和シテ來ルト云フ風ニモ考ヘマス譯デア
 リマス、ソレデ「オイル・シエル」ト云フモノ
 ヲ、之ヲ又何か戰時ト云フ場合ニハサウ云
 フ機械ヲ内地デ造テ増設スルト云フ方法

モドウシテモ考慮スル必要ガアリマスノ
 デ、尙ホ滿鐵トモ協同イタシマシテ、アノ
 徳山ノ燃料廠ニ於キマシテ、燃料研究機關
 デ所謂石炭其他カラ油ヲ乾溜イタシマス、
 此方法ガ御承知ノ通り獨逸アタリデハ又非
 常ニ進歩シタモノガ出來タノデ、サウ云フ
 コトト連絡ヲ取ツテ、餘程モ有望ナモノニ
 ナリツツアリマスノデ、各種ノ方法ヲ講ジ
 テ、先ヅ日本ノ所謂油ノ出ナイト云フ缺點
 ハ補ヒヲツケルト云フコトニ進ミツツアリ
 マス、戰時ノコトヲ御尋ネデアリマスガ、
 戰時ノコトヲ最モ心配シマシテ、海軍デハ
 只今申上ゲマシタヤウナ準備ヲシ、今日ニ
 於キマシテハ、戰時ニナツタラマルデ動カヌ
 ト云フヤウナ御心配ハナイ大體ノ見込ヲ以
 テ進ミツツアル譯デアリマス

○大橋新太郎君 只今海軍大臣カラ段々石
 油ノ御準備ニナツテ居ル御話ガアリマシタ、
 私モ滿鐵ニハ實際自分ガ重役トシテ關係シ
 テ居リマスカラ、「オイル・シエル」ノコトモ
 存ジテ居リマスシ、樺太ノコトニモ日本石
 油ガ關係シテ居リマスシ、最近蘭領ノ方ノ
 「ボルネオ」ノ方ノ問題ニモ關係シテ居リマ
 スカラ申上ゲマスガ、ナカノ海軍省ノ御
 獎勵竝ニ政府モ石油ノ試掘ニハ相當ニ補助
 ヲシテ、一本井戸ヲ掘レバ幾ラト云フ補助

マデ與ヘテ御出デニナリマスガ、ドウ云フ
 モノカ石油ノ出ル穴ガ日本ニ大變ニ少イ、
 今滿洲竝ニ露領ノ樺太トシテハ少シハ出マ
 スガ、是トテ大シタモノデハナイノデアリ
 マス、ソレデ海軍省ガ始終一朝事ガ有ル時
 ニ困ルト云フノデ、炭槽ヲ作テ油ヲ買ツテ
 居ラレルト云フモ存ジテ居リマス、サア其買
 ヒ先ハ何處デアルカト云フト、英領トカ蘭
 領トカ、其外多少アリマセウガ、英國トカ
 米國ガ一番多イノデアリマス、サウ云フ風
 ノコトデ、マサカスウ云フモノヲサウ何年
 分モ貯ヘテ置クト云フコトハ不可能デア
 ル、又國力ニ於テモ一朝事ガ有レバ短兵急
 ニ直グ太平洋ヲ一週行テ來レバ直グ供給
 出來ルト云フコトニ行ケバ宜シウゴザイマ
 スガ、ナカノ距離ノアル亞米利加ト英國
 デハ、日本ガソレヲ目標トシテ、海軍ガ御
 獎勵ニナル以上ニ、敵カラ敵ノ持ツテ居ル
 モノヲ買ツテ來テ、サウシテ之ヲ戰爭ニ
 御使ヒニナルト云フ御話ハ隨分御苦シイ
 話デヤナイカト思フノデス、ソレカラ一
 面ニ此石油ノ需要モ非常ニ多クテ、最近
 ニハ鐵道マデガ石炭ヨリモ石油ガ宜イト
 云フ譯デ、ソレカラ近頃郵船會社ノ作ル
 船ト云フモノハ、元ハ石炭モ石油モ兩方
 使フヤウナ船ヲ作りマシタガ、最近デハ石

油一點張りノ船デナケレバ作ラナイ、日本
 ニハ石炭ハアルケレドモ、石油ガナイ、海
 軍ノ船ノミナラズ、日本ノ商船、漁船マデ
 モ石油デスカラ、日本ノ殆ド船全部ガ石油
 ニナリツツアル、陸上ノ鐵道マデモ、最近
 ハ鐵道省ノ急行列車ハ石油ヲ使ツタガガ
 宜イト云フコトニナツテ居ル、ソコデ石炭
 ハアレドモ石油ノナイ國ト云フコトニ付
 テハ相當心配ノモノデヤナイカト思フノデ
 ス、サウシテ現ニ御承知ノ通り日露戰爭ヲ
 シマシタ時ノ明治三十七年ノ日本ノ國ノ豫
 算ハ全部デ二億七千七百萬圓、海陸軍ノ費
 用ヲ合セテ僅カニ三千二百七十萬圓、ソレ
 ガ今海陸軍ダケデ一箇年ニ約五億圓弱デア
 リマス、ソレカラ其外陸海軍ノ恩給ダケデ
 モ一億圓アリマスガ、是モ三十七年ノ海陸
 軍軍事費ノ三倍モ海陸軍ノ恩給ダケ掛カ
 ルト云フヤウニ經濟ノ方ハ膨脹シテ居リマ
 ス、サウシテ一面國民ハ重税ナリ、歐羅巴
 大戰ノ一時ノ景氣ノ反動ト云フモノガア
 テ、一面ニハ水野サンノ御質問ニナツタヤ
 ウナ國防充實ニ付テ突貫ナサル御議論モ隨
 分アルノデ、是モ、國防充實ハ極メテ必要
 デ、我々モ亞米利加ヨリモ英吉利ヨリモ澤
 山軍艦ヲ持チタイノデス、唯軍艦ヲ動カス
 上ニ於テ……國力モ大事デアアルガ、同時ニ

國力ノコトハ次ニシマシテ、石油ハドウシテモ無クチヤナラヌモノデスガ、日本ガ英吉利ナリ亞米利加カラ買フ石油デヤッテ、其石油デ以テ亞米利加、英吉利ト戰爭ヲスルト云フコトハ何ダカ心細イヤウナ氣ガシマスノデ、此點ニ付キマシテ、是ハ安心ダト云フ御説明ヲ願フ譯ニハ行カヌカモ知レマセヌガ、是デハ何ダカ無謀ナ面白クナイモノヲ作ル氣ガシテイケマセヌガ……

○國務大臣(男爵安保清種君) 只今重ネテ

大橋サンカラ御尋デアリマシタガ、先程申上ゲマシタヤウニ、勿論日本ニ石油ガ極メテ不十分デアルト云フコトハ御説ノ通り

デ、其點ガ先程申上ゲマシタヤウニ、海軍ト致シマシテモ最モ心ヲ痛メテ居リマスコトデアリマス、即チ現狀ニ處シテドウシトラバ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、先ヅ斯ウ云フ方法ヲ執ルヨリ外ハナイト云フ所ニ考ヲ置イテ、數年乃至十數年ニ亘ッテ其趣意ヲ以テ著々ト仕事ヲシテ居リマスノデ、併シ是ハ外國カラ買フテハイカヌト言ッテモ買ハナケレバ立行カヌノデアリマシテ、ドウシテモ買ハナケレバナラヌ、併シ買ヒ方ヲ出來ルダケ少クスルト云フ方法ヲ以テ苦心シマシタノガ今申上ゲマシタ、大橋サンハ能ク御承知デ説明ヲ重ネル必要モナイノ

デアリマスガ、此「オイル・シエル」ナリ滿鐵ナリト云フ所ノ其結果トシテ今年ハ……六年度ニ於キマシテハ、外國カラ輸入スル油ヨリカハ今ノ内地ニ於テノ油ノ方ガ海軍ノ方デハ買フ分量ガ多イト云フ點ヲ見テモ、是ハ段々多クナッテ外國カラ一ツモ取ラナクナレバ、是ハ大橋サンノ理想通り、又我々ノ理想通りデアリマス、右様ナ次第デ、戰時ニナッテモ使フ油ガ無いノニ、唯軍艦ヲ用意シ航空隊ヲ用意スルト云フ意味デアリマセヌ、兩々相俟ッテ其最モ適當ナ所ニ進ンデ居リマス、斯ウ云フ次第ヲ御諒承願ヒタイノデアリマス

○大橋新太郎君 海軍省デ内地ノ油ヲ御買

上ゲニナレバ民間デ使フ油ハ、自動車ナドハドウナルカ、海軍省ガ其油ヲ御使ヒニナレバ、民間ノ使フ船ノ油ナリ、汽車ノ油ハドウナリマスカ、矢張り一朝國交ガ破レレバ、郵船會社ノ船ガ動かナクテモ、商船會社ノ船ガ動かナクテモ、矢張り軍事行動ノ上ニハ非常ナ差支ガ起キマス、又日本内地ノ自動車ガ動かヌヤウニナレバ非常ニ困リマス、自動車ト云フモノガ日本ニ於テモ有ラユル上ニ活動シテ居ルノデスカラ、ドウモ此石油問題ダケニ對シマシテハ海軍當局ニ於カレマシテモ相當御考慮下サイマスル

ヤウニ願ヒタイ、是デ私ノ質問ヲ終リマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 皆サンニ御諮リ致シマス、特別委員外ノ井上男爵ヨリ海軍大臣ニ對シテ質問ガアルト云フ御要求ガゴザイマシタ、如何デセウカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御異議ゴザイマセヌカ、然ラバ許スコトニ致シマス
○委員外議員(男爵井上清純君) 特別ニ御許シテ願ヒマシテ有難ウゴザイマス、大藏大臣、海軍大臣御列席ノ席上ニ於テ伺ヒタイト考ヘテ居。タノデアリマスガ、大藏大臣ノ方バ後ニ廻シマシテ、順序トシマシテ海軍大臣カラ承リタイト考ヘマス、只今色々大橋君カラ經濟的ノ御話ガ出テ居。タノデアリマスガ、先ヅ冒頭ニ私ハ先日來海軍大臣ニ對シテ申上ゲタコトヲ要約シテ申シマスルト、全體今度ノ倫敦ノ海軍條約ノ結果、今マデ最モ經濟的ノ軍備デアッタモノヲ、此條約ヲ結ンダ爲ニ國防ハ經濟的ニ行カナクナッタト云フコトヲ國民ガ十分知。テ貫ハナケレバナラヌト云フコトヲ海軍大臣ニハ申上ゲテアッタノデアリマス、サウシテ總括的ニ七割近イ所ノ六割九分七厘ニモト云フモノヲ得。タノデアリマスルガ、何等我國ハ總和的ニ於テハ兵量ノ少キヲ嘆ズル謂ハレハナ

イノデアリマス、即チ國防費全體ニ付キマシテハ少シモ變ラヌバカリデナク、大型巡洋艦ニ代ヘルノニ小型巡洋艦ヲ以テシマシタナラバ噸價ニ於キマシテハ高ク上ルモノデアリマスルカラ、却ッテ國防費ハ上ラナケレバナラヌノデアリマス、最モ經濟的ナル潜水艦ヲウツチャッタ爲ニ、之ヲ補フノニ海軍大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、内容ヲ充實スルト云フコトデアリマス、其内容ヲ充實スルト云フコトハ噸價ヲ高メルコトデアリマス、又飛行機ヲ以テ之ヲ補ハナケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、飛行機ト云フモノハ御承知ノ通り最モ高價ナル兵器デアリマス、又水雷艇ヲ以テ補フ、機械水雷ヲ以テ補フト云フコトニナリマスルト、大變ナモノガ國防費ニ餘計ニ掛ルノデアリマス、是等ヲ以テ見マシテモ素人考ヘニ於テ甚ダ不經濟ナル國防ヲ日本帝國ハ背負ハナケレバナラヌト云フ結論ニ到著スル譯デアリマス、此度ノ補充計畫ノ財源ニ付テ先ヅ承リタイト思フノデアリマス、此財源ノコトニ付キマシテハ大藏大臣カラ適當ニ御答辯ガアルト考ヘマスルガ、海軍大臣ニ對シマシテハ、此度御提出ノ補充計畫ニ對スル所ノ説明、竝ニ答辯ヲ要約シテ申シマスルト次ノヤウニナルカト思フノデアリマ

的ニ於テハ兵量ノ少キヲ嘆ズル謂ハレハナ

ス、倫敦海軍條約ノ結果今回ノ補充計畫ヲ提出シタガ、是ハ謂ハバ其第一次計畫ト云フベキモノデアッテ、第二次補充計畫ヲ條約ノ期限タル昭和十一年十二月三十一日マデニ實現スルノ希望ト其必要トヲ認メル、但シ計畫ノ内容ト著手ノ時期トハ未確定デアル爲ニ是ニ要スル所ノ財源ハ保留シテナイト云フノデアリマス、斯ノ如クニ要約シテ私ハ政府ノ御答辯ヲ聽取ツタノデアリマスルガ、先ヅ斯ノ如ク承知イタシテ宜シウゴザイマスカ、海軍大臣カラ承ハリタイ

○國務大臣(男爵安保清種君) 只今ノ井上男爵ノ御問ヒニ御答ヘ申上ゲマスルガ、此財源ニ付テト云フ御話デアリマシタガ、是ハ大體筋道ヲ申上ゲマスレバ保留財源トシテ昭和五年度ニ、或ル海軍ノ計畫ヲ先程モ段々茲デ御話ヲ申上ゲマシタヤウニ、海軍

ノ一ツノ計畫トシテ昭和五年度位カラハ著手シナケレバナラヌト云フノデ其ノ時ノ政府ハ計畫ヲサレテ、サウシテ茲ニ主力艦モ造ルト云フヤウナ意味ノコトニナリマシテ可ナリ大キナ計畫ガアリマシタ、ソレニ對シテ大藏當局ト致シマシテ兎ニ角此處ノ財源ト云フモノヲ六年間ニ互ッテ五億八百万圓ヲ用意スルト云フコトデアリマシタ、ソコガ其倫敦會議ニ於テ主力艦ハ建造ヲ延期

スルト云フヤウナ關係ニナリマシタノデソレダケノ經費ハ要ラナクナリマシタノデ、未ダ五億デハドウシテモソレハ不足デアリマスルガ、今ノヤウナ倫敦協約ノアリマシタト云フヤウナ關係上ソコニ若干ノ弛ミガ出來マシタノデ、其中カラ豫テ海軍力ヲ保持スル上ニ於テ必要、竝ニ此條約ノ關係ト云フヤウナモノヲソコニ考慮ニ入レテ一ツノ計畫ヲ立テマシタノガ今度ノ三億七千万圓デアリマシテ、其保留財源ノ中カラ差引餘リマシタ一億三千四百万圓ト云フモノガ即チ減稅ト云フ意味ニナリマシタノデアリマスルガ、此度ノ計畫ガ第一次デアッテ第二次ハ是非共ナケレバナラヌト云フコトニ付テノ、今迄貴族院、衆議院等ニ於キマシテ私カラ御答等ヲ致シマシタモノヲ綜合シテ、只今井上男爵カラモ御尋デアリマシタガ、御尋ノ通り此度ノモノハ先程水野サシカラノ御尋ニ御答ヘ致シマシタ通り、是非共必要トスル兵力骨幹ヲ備ヘタモノデアッテ、次ニ昭和十一年度以前ニ於テ或ル海軍計畫ヲ立テル必要ハ無論認メテ居リマス

次第デアリマスルガ、併ナガラ此第二次計畫ト次ニ來ル計畫ト云フモノヲ是非共ソコニ加ヘナケレバ國防ニ不安アリト云フ意味デハナイノデアリマシテ、矢張り當面ノ情勢ニ於キマシテ此度ノ計畫ト云フモノヲ以テ當面ノ情勢ニ於テハ國防上不安ナリトスルモノデアリマスルガ、申上ゲマスル迄モナク段々年ノ進ムニ從ッテ外國ノ情況等モ分リドウシテモ相當ノモノヲ立テナクチャイカヌト云フ時期ニ於テ次ノ一ツノ計畫ヲ立テテ、其ノ場合ニ於テ國防上最モ必要トスル兵力等ニ重キヲ置イテ一ツノ計畫ヲ立テル、斯ウ云フ意味ニナリマスルノデアリマスルガ、次ニ來ル計畫ノ必要ナルコトハモウ是非必要ト致ス次第デアリマスガ、ソレト今度ノト必ズ結び附ケナケレバ國防上不安ト云フ意味デハナイノデアリマスカラ、念ノ爲メソレダケ申上ゲマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チョット皆様ニ申上ゲテ置キマスガ、先程二三ノ方ヨリ三時デ止メタイト云フ御希望モアリマシタガ、マダ續行イタシマセウカ、皆様止メロト云フコトデゴザイマスレバ左様取計ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」贊成ト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 然ラバ是デ散會イタシマス、明日ハ午後一時半ヨリ始メマス
午後三時一分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵柳澤 保惠君
- 副委員長 男爵阪谷 芳郎君
- 委員 公爵一條 實孝君
- 子爵梅小路 定行君
- 子爵大久保 立君
- 子爵大河内 輝耕君
- 子爵裏松 友光君
- 水野 鍊太郎君
- 男爵藤村 義朗君
- 男爵小畑 大太郎君
- 男爵黒田 長和君
- 片岡 直温君
- 藤田 四郎君
- 湯地 幸平君
- 馬場 鉄一君
- 長岡 隆一郎君
- 後藤 文夫君
- 木村 清四郎君
- 大橋 新太郎君
- 濱口 儀兵衛君
- 田中 一馬君
- 小林 暢君
- 森田 福市君
- 委員外議員 男爵井上 清純君

國務大臣

外務大臣 男爵幣原喜重郎君

大藏大臣 井上準之助君

海軍大臣 男爵安保 清種君

政府委員

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 川越 丈雄君

專賣局長官 平野 亮平君

昭和六年三月十八日印刷

昭和六年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局